

別冊

鳥取県に関するイメージ調査 (抜粋)

2016年2月

 鳥取県

1. 調査概要

- 調査目的 首都圏など14都府県在住者を対象に、本県のイメージや地域資源の認知度、観光・余暇等を把握する。
- 調査名 「鳥取県」の観光に関する、14都府県調査
- 調査地域 ①首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) ②関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)
③中京(愛知県) ④中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)
⑤九州圏(福岡県)
- 調査方法 インターネット調査
- 対象者 上記エリアに居住する、10代以上の男女個人
- 回収数 5,400サンプル
①首都圏(2,400ss) ②関西圏(900ss) ③中京(300ss)
④中国・四国(1,500ss) ⑤九州圏(300ss)
- 実施期間 2015年12月22日(火)～12月28日(月)
- 実施機関 大手インターネットリサーチ会社

2. 対象者プロフィール①

		エリア(居住地)														
		東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	愛知県	大阪府	兵庫県	京都府	広島県	岡山県	愛媛県	香川県	徳島県	福岡県	
		(n)	%													
2013年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
2014年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
2015年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	

【対象者: 全員】

		性別		
		男性	女性	
		%		
2013年全体	(5400)	49.9	50.1	
2014年全体	(5400)	50.0	50.0	
2015年全体	(5400)	49.8	50.2	
エリア	首都圏	(2400)	50.0	50.0
	関西圏	(900)	49.2	50.8
	中京	(300)	48.3	51.7
	中国・四国	(1500)	49.9	50.1
	九州圏	(300)	50.0	50.0

【対象者: 全員】

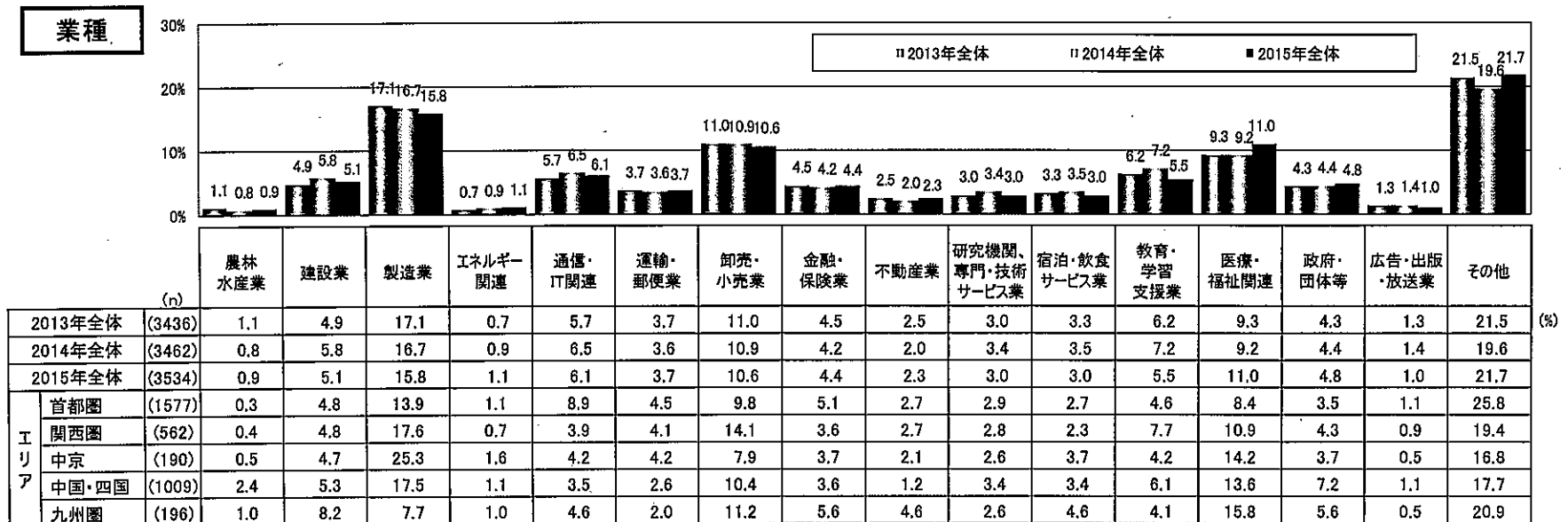
		年代					
		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
		%					
2013年全体	(5400)	9.3	23.6	17.1	16.7	16.7	16.7
2014年全体	(5400)	6.6	26.2	17.1	16.7	16.7	16.7
2015年全体	(5400)	6.8	26.0	17.2	16.7	16.7	16.7
エリア	首都圏	(2400)	5.8	27.5	16.7	16.7	16.7
	関西圏	(900)	11.9	21.4	16.7	16.7	16.7
	中京	(300)	16.3	17.0	16.7	16.7	16.7
	中国・四国	(1500)	3.1	28.1	18.7	16.7	16.7
	九州圏	(300)	8.0	25.3	16.7	16.7	16.7

【対象者: 全員】

2. 対象者プロフィール②

職業		(%)									
(n)		自営業	会社役員・団体役員	会社員	公務員・団体の員	パート・アルバイト	学生	専業主婦/主夫	無職	その他	
2013年全体	(5400)	6.4	2.6	34.3	5.9	12.4	10.7	16.7	9.0	2.1	
2014年全体	(5400)	5.9	2.3	35.3	6.2	12.4	9.4	16.6	9.9	2.2	
2015年全体	(5400)	6.1	2.2	36.7	5.4	12.6	9.4	15.7	9.5	2.4	
エリア	首都圏	(2400)	5.5	2.3	40.2	6.7	11.9	9.0	16.3	9.0	2.1
	関西圏	(900)	6.6	2.7	32.6	4.6	13.4	14.3	15.2	8.0	2.7
	中京	(300)	3.7	1.0	37.7	4.7	13.7	15.0	15.7	6.0	2.7
	中国・四国	(1500)	7.1	2.2	34.3	8.5	12.9	5.9	14.9	11.9	2.4
	九州圏	(300)	7.3	1.3	33.0	6.8	14.3	8.7	15.7	10.3	3.0

【対象者: 全員】



【対象者: 有職者】

2. 対象者プロフィール③

世帯年収		(n)							(%)	
		~100万円未満	100万円以上~ 300万円未満	300万円以上~ 500万円未満	500万円以上~ 700万円未満	700万円以上~ 1,000万円未満	1,000万円以上~ 1,500万円未満	1,500万円以上		
2013年全体	(5400)	8.2	16.9	27.2	19.8	17.1	8.0	2.8		
2014年全体	(5400)	10.0	18.7	28.0	18.4	14.2	8.1	2.6		
2015年全体	(5400)	8.3	19.7	26.6	18.5	15.8	8.3	2.7		
エリア	首都圏	(2400)	7.0	17.4	25.7	18.6	17.3	10.4	3.5	
	関西圏	(900)	10.3	19.1	26.7	18.8	16.6	7.3	1.2	
	中京	(300)	7.0	16.0	28.3	21.7	16.0	7.3	3.7	
	中国・四国	(1500)	9.1	23.5	27.6	17.7	13.5	6.3	2.3	
	九州圏	(300)	10.0	25.0	26.7	18.0	13.3	5.0	2.0	

【対象者: 全員】

1-1. 鳥取県への訪問経験

- ◆ 『鳥取県』への訪問経験をみると、「訪れたことがある」という人は半数弱の47%。一方、「一度も行ったことがない」人が52%で、概ね二分される。また、「居住したことがある」人が1%みられた。
- ◆ 時系列比較でみると、この3年間で大きな変化はなく、依然として訪問経験率は半数弱で推移している。一方、訪問未経験者の割合も変わらない。
 - エリア別でみると、関西圏〈大阪府・兵庫県・京都府〉と中国・四国〈広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県〉、両エリアの訪問経験者が7割前後で、他エリアに比べて高い。一方、首都圏〈東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県〉や、中京〈愛知県〉の訪問経験率が相対的に低い。特に首都圏では3割弱にとどまる。
 - エリア×年代別でみると、各エリアとも年代が上がるにつれて、総じて訪問経験率も上昇するという傾向がみられ、特に60代以上で顕著となっている。

Q1. あなたは、鳥取県を訪れたことがありますか。(ひとつだけ)

		訪問経験あり or 居住経験あり計 (%)				訪問経験あり or 居住経験あり計 (%)			
		(n)	訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない	(n)	訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない
2013年全体		(5400)	48.1	17	51.2	48.8	48.1	17	51.2
2014年全体		(5400)	48.9	18	50.3	49.7	48.9	18	50.3
2015年全体		(5400)	47.2	12	51.7	48.3	47.2	12	51.7
エリア×年代	首都圏	(2400)	27.1	17	72.2	27.0	27.1	17	72.2
	10代	(139)	20.9	0	79.1	20.0	20.9	0	79.1
	20代	(661)	18.5	15	80.0	60.0	18.5	15	80.0
	30代	(400)	24.5	0	75.5	24.5	24.5	0	75.5
	40代	(400)	25.3	13	73.5	23.9	25.3	13	73.5
	50代	(400)	31.5	0	68.5	31.5	31.5	0	68.5
	60代以上	(400)	43.8	5	55.8	44.3	43.8	5	55.8
	関西圏	(900)	68.4	10	30.6	69.4	68.4	10	30.6
	10代	(107)	46.7	0	53.3	46.7	46.7	0	53.3
	20代	(193)	58.0	16	40.4	59.6	58.0	16	40.4
	30代	(150)	62.7	17	36.7	63.9	62.7	17	36.7
	40代	(150)	69.3	17	30.0	70.0	69.3	17	30.0
	50代	(150)	84.7	17	14.7	85.6	84.7	17	14.7
	60代以上	(150)	86.0	20	12.0	88.0	86.0	20	12.0
	中国・四国	(1500)	69.7	10	28.3	71.7	69.7	10	28.3
	10代	(47)	70.2	0	29.8	70.2	70.2	0	29.8
	20代	(421)	58.4	19	39.7	60.3	58.4	19	39.7
	30代	(281)	66.9	14	31.7	68.3	66.9	14	31.7
	40代	(251)	70.5	28	26.7	73.3	70.5	28	26.7
	50代	(250)	78.0	24	19.6	80.4	78.0	24	19.6
60代以上	(250)	82.4	10	15.6	84.4	82.4	10	15.6	
九州圏	(300)	43.7	18	55.0	45.0	43.7	18	55.0	
10代	(24)	20.8	0	79.2	20.8	20.8	0	79.2	
20代	(76)	22.4	39	73.7	26.0	22.4	39	73.7	
30代	(50)	40.0	0	60.0	40.0	40.0	0	60.0	
40代	(50)	58.0	0	42.0	58.0	58.0	0	42.0	
50代	(50)	52.0	0	48.0	52.0	52.0	0	48.0	
60代以上	(50)	68.0	10	30.0	70.0	68.0	10	30.0	
中京	(300)	34.7	10	64.3	35.7	34.7	10	64.3	
10代	(49)	12.2	0	87.8	12.2	12.2	0	87.8	
20代	(51)	21.6	0	78.4	21.6	21.6	0	78.4	
30代	(50)	32.0	40	64.0	33.0	32.0	40	64.0	
40代	(50)	40.0	0	60.0	40.0	40.0	0	60.0	
50代	(50)	46.0	20	52.0	48.0	46.0	20	52.0	
60代以上	(50)	56.0	0	44.0	56.0	56.0	0	44.0	

[対象者: 全員]

1-2. 鳥取県在住の家族・親戚・友人の有無

- ◆ 家族や親戚、友人の中に、『鳥取県』に住んでいる人が「いる」と回答した人は10%。
- ◆ 時系列でも、この3年間でほとんど動きはなく、「いる」は1割程度で推移している。
 - エリア別で見ると、最も近距離の中国・四国において、家族や親戚・友人が「いる」の割合がやや高い。
 - エリア×年代別では、やはり中国・四国の10代・20代の若年層で、「いる」の割合が2割前後と高めの傾向。その他に関西圏の10代・20代、中国・四国50代でもやや高い。

Q2. あなたの家族や親戚、友人で鳥取県に住んでいる人がいますか。(ひとつだけ)

		(n)	いる (%)	いない (%)
2013年全体		(5400)	10.9	89.1
2014年全体		(5400)	10.9	89.1
2015年全体		(5400)	10.4	89.6
エリア×年代	首都圏	(2400)	6.3	93.7
	10代	(139)	7.2	92.8
	20代	(661)	8.0	92.0
	30代	(400)	6.8	93.3
	40代	(400)	5.5	94.5
	50代	(400)	3.5	96.5
	60代以上	(400)	6.5	93.5
	関西圏	(900)	14.3	85.7
	10代	(107)	16.8	83.2
	20代	(193)	18.1	81.9
	30代	(150)	11.3	88.7
	40代	(150)	10.7	89.3
	50代	(150)	14.7	85.3
	60代以上	(150)	14.0	86.0
	中京	(300)	7.0	93.0
	10代	(49)	6.1	93.9
	20代	(51)	7.8	92.2
	30代	(50)	10.0	90.0
	40代	(50)	6.0	94.0
	50代	(50)	8.0	92.0
60代以上	(50)	4.0	96.0	

		(n)	いる (%)	いない (%)
2013年全体		(5400)	10.9	89.1
2014年全体		(5400)	10.9	89.1
2015年全体		(5400)	10.4	89.6
エリア×年代	中国・四国	(1500)	15.6	84.4
	10代	(47)	21.3	78.7
	20代	(421)	19.2	80.8
	30代	(281)	12.1	87.9
	40代	(251)	13.1	86.9
	50代	(250)	17.6	82.4
	60代以上	(250)	12.8	87.2
	九州圏	(300)	7.7	92.3
	10代	(24)	4.2	95.8
	20代	(76)	14.5	85.5
	30代	(50)	6.0	94.0
	40代	(50)	8.0	92.0
	50代	(50)	6.0	94.0
	60代以上	(50)	2.0	98.0

【対象者:全員】

1-3. 鳥取県出身者との接触有無

新規質問

- ◆ 前問で、『鳥取県』在住の家族や親戚、友人は「いない」と回答した人に、鳥取県在住者に会ったことがあるかどうかを聞いた。
- ◆ 全体の28%が会ったことが「ある」と答えている。
 - エリア別で見ると、関西圏、中国・四国で「ある」の割合が他エリアに比べてやや高い。
 - エリア×年代別では、関西圏の50代以上で「ある」の割合が特に高い。また、中国・四国の30代～50代もやや高め傾向。やはり近隣エリアの接触率が高めである。一方、首都圏の10代～30代、中京の30代・60代以上、九州圏30代で、「ある」の割合が他層に比べて低いのが目立つ。(九州圏10代は、該当数些少のため参考値)

Q3. ■前問で「いない」を選択した方にお伺いします。■ 鳥取県出身者に会ったことがありますか。(ひとつだけ)

		(n)	ある (%)	ない (%)
エリア×年代	2015年全体	(4841)	28.0	72.0
	首都圏	(2248)	21.6	78.4
	10代	(129)	17.1	82.9
	20代	(608)	17.3	82.7
	30代	(373)	18.0	82.0
	40代	(378)	20.6	79.4
	50代	(386)	22.5	77.5
	60代以上	(374)	33.7	66.3
	関西圏	(771)	37.2	62.8
	10代	(89)	25.8	74.2
	20代	(158)	30.4	69.6
	30代	(133)	36.1	63.9
	40代	(134)	34.3	65.7
	50代	(128)	45.3	54.7
	60代以上	(129)	49.6	50.4
	中京	(279)	21.5	78.5
	10代	(46)	21.7	78.3
	20代	(47)	21.3	78.7
	30代	(45)	17.8	82.2
	40代	(47)	31.9	68.1
50代	(46)	21.7	78.3	
60代以上	(48)	14.6	85.4	

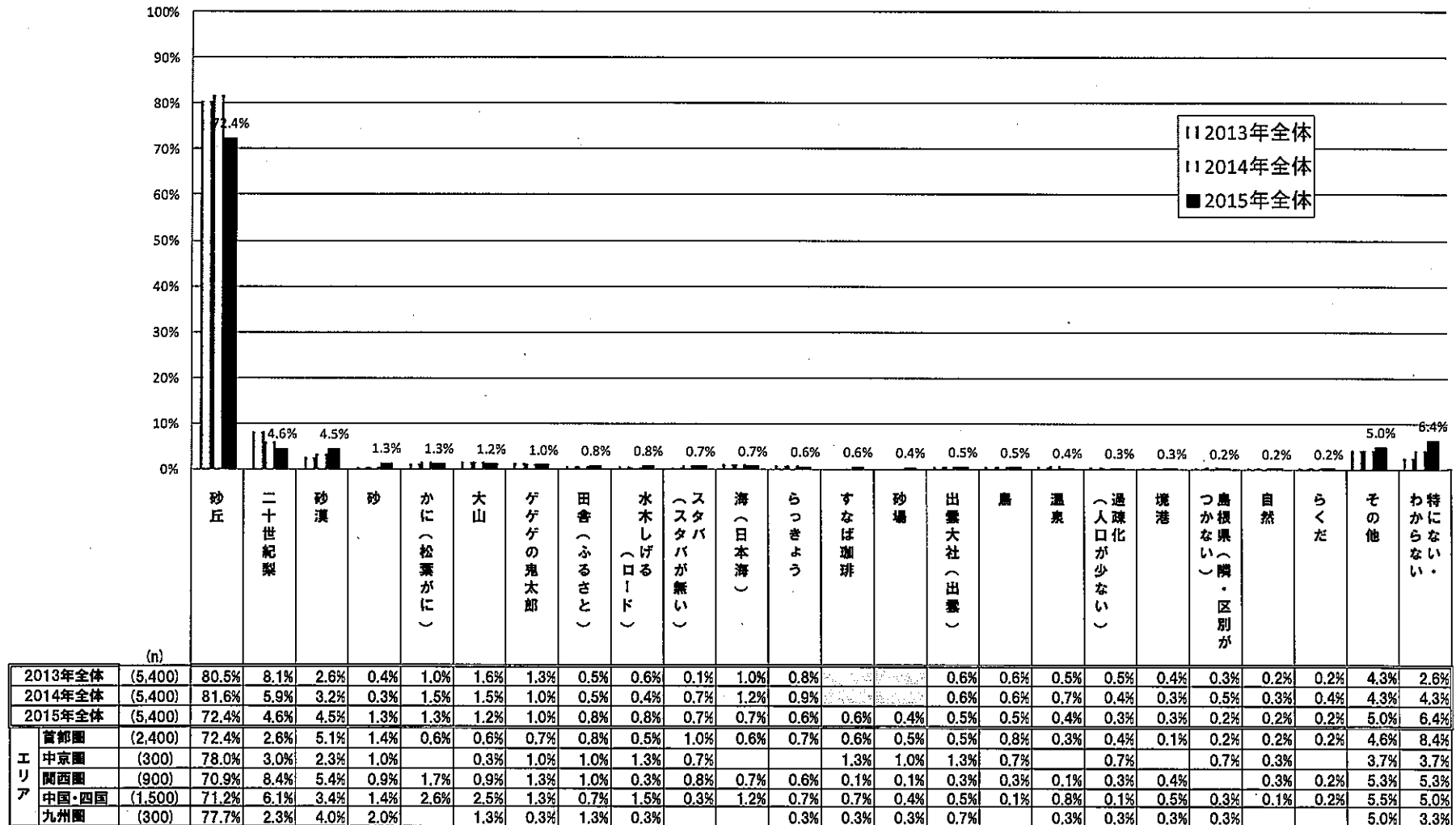
		(n)	ある (%)	ない (%)
エリア×年代	2015年全体	(4841)	28.0	72.0
	中国・四国	(1266)	36.4	63.6
	10代	(37)	32.4	67.6
	20代	(340)	35.6	64.4
	30代	(247)	40.1	59.9
	40代	(218)	37.6	62.4
	50代	(206)	38.3	61.7
	60代以上	(218)	31.2	68.8
	九州圏	(277)	22.0	78.0
	10代	(23)	4.3	95.7
	20代	(65)	23.1	76.9
	30代	(47)	10.6	89.4
	40代	(46)	34.8	65.2
	50代	(47)	23.4	76.6
60代以上	(49)	26.5	73.5	

【対象者：鳥取県在住の家族や親戚、友人が「いない」と回答した人】

2-1. 『鳥取県』と言われて連想されるもの

- ◆ 『鳥取県』と言われて連想するものとして「鳥取砂丘」(72%)が突出して高い。前年と比べて9pt減少しているが、「砂漠」「砂」などの関連するキーワードは増えている。
- ◆ 「大山」「二十世紀梨」などこれまで鳥取県のシンボルとして扱われてきたものが減っている。また、「特にない・わからない」や「その他」の回答が増えている。イメージの拡散傾向が窺える。
- ◆ 少ないものの、スタバ関連(砂場、すなば珈琲)の話題は昨年に引き続き増えつつある。

Q4. あなたは「鳥取県」と言われて何を連想しますか。(自由回答)



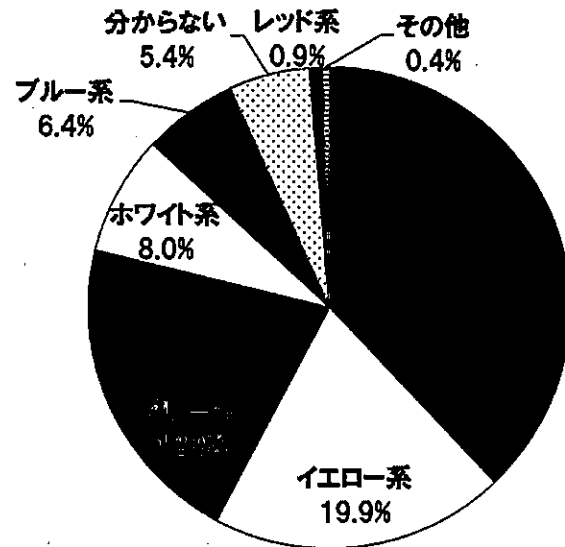
【対象者:全員】

2-2. 鳥取県の色

- ◆ 「ブラウン系」(38%)と「イエロー系」(27.2%)で全体の過半数を占めているものの、ブラウン系が大幅に増え、イエロー系が減っている。
- ◆ 60代以上ではブラウン系と並んでグレー系の比率も高い。
- ◆ 中京圏では、ブラウン系の比率が高く、反面グリーン系の比率が低い。

Q5. 鳥取県を色で表現するとすれば何色でしょうか。(自由回答)

	(n)	ブラウン系	イエロー系	グレー系	グリーン系	ホワイト系	ブルー系	レッド系	その他	わからない・特にな
2013年全体	(5,400)	28.7%	27.2%	12.6%	11.9%	8.3%	6.4%	2.0%	1.3%	1.6%
2014年全体	(5,400)	31.5%	27.1%	11.1%	10.7%	7.6%	6.2%	2.4%	1.1%	3.3%
2015年全体	(5,400)	38%	19.9%	12.0%	9.1%	8.0%	6.4%	0.9%	0.4%	5.4%
エリア										
首都圏	(2,400)	37.9%	20.6%	13.5%	7.6%	6.8%	5.6%	0.9%	0.3%	6.8%
関西圏	(900)	41.0%	20.0%	7.0%	11.7%	7.7%	6.8%	1.2%	0.3%	4.3%
中京圏	(300)	43.7%	20.7%	9.7%	3.7%	9.3%	7.7%		0.7%	4.7%
中国・四国	(1,500)	35.1%	18.7%	13.1%	10.9%	9.0%	7.5%	1.1%	0.5%	4.1%
九州圏	(300)	38.0%	18.7%	12.0%	9.0%	12.7%	4.7%	0.7%	0.7%	3.7%



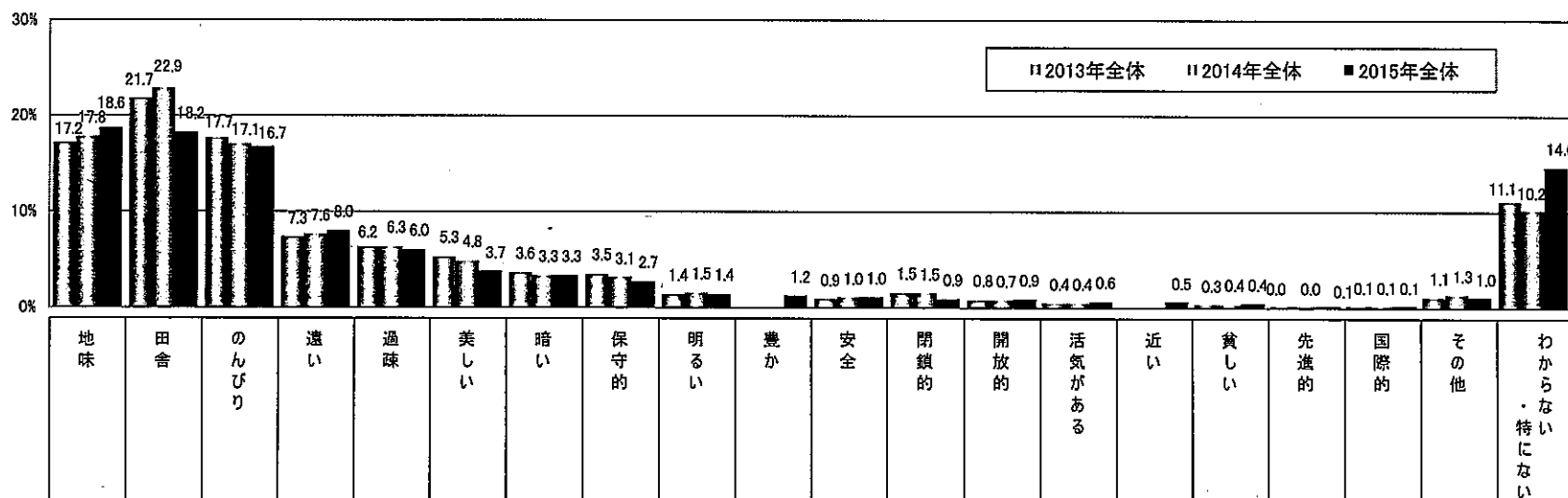
【対象者：全員】

	(n)	ブラウン系	イエロー系	グレー系	グリーン系	ホワイト系	ブルー系	レッド系	その他	わからない・特にな
2013年全体	(5,400)	28.7%	27.2%	12.6%	11.9%	8.3%	6.4%	2.0%	1.3%	1.6%
2014年全体	(5,400)	31.5%	27.1%	11.1%	10.7%	7.6%	6.2%	2.4%	1.1%	3.3%
2015年全体	(5,400)	38%	19.9%	12.0%	9.1%	8.0%	6.4%	0.9%	0.4%	5.4%
エリア										
10代	(366)	43.7%	23.5%	4.9%	11.7%	3.0%	6.6%	0.3%	0.3%	6.0%
20代	(1,402)	43.3%	25.2%	4.0%	10.2%	4.0%	5.2%	1.2%	0.4%	6.5%
30代	(931)	38.5%	26.0%	5.9%	10.3%	7.5%	6.0%	0.1%	0.5%	5.2%
40代	(901)	40.7%	17.5%	10.2%	8.8%	7.9%	6.5%	1.4%	0.4%	6.4%
50代	(900)	34.2%	14.7%	20.8%	7.6%	10.4%	6.4%	1.3%	0.1%	4.7%
60代以上	(900)	31.3%	26.9%	6.7%	14.6%	8.2%	0.8%	0.6%		3.2%
首都圏	(2,400)	37.9%	20.6%	13.5%	7.6%	6.8%	5.6%	0.9%	0.3%	6.8%
10代	(139)	43.9%	20.1%	7.9%	11.5%	4.3%	5.0%		0.7%	6.5%
20代	(661)	40.7%	28.6%	4.7%	8.2%	3.8%	3.8%	1.4%	0.3%	8.6%
30代	(400)	41.3%	25.3%	6.5%	9.5%	5.3%	5.3%		0.3%	6.8%
40代	(400)	42.8%	17.5%	10.0%	6.8%	6.5%	4.8%	1.8%	0.5%	9.5%
50代	(400)	36.0%	14.5%	22.0%	4.8%	10.8%	6.0%	1.0%		5.0%
60代以上	(400)	32.0%	23.3%	7.3%	10.5%	9.5%	0.3%	0.3%		3.3%
関西圏	(900)	41.0%	20.0%	7.0%	11.7%	7.7%	6.8%	1.2%	0.3%	4.3%
10代	(107)	43.0%	29.0%		8.4%		9.3%	0.9%		8.4%
20代	(193)	46.1%	22.3%	2.6%	14.5%	4.1%	5.2%	1.0%	1.0%	3.1%
30代	(150)	34.7%	29.3%	2.7%	10.0%	10.0%	6.7%			6.7%
40代	(150)	44.7%	14.7%	6.0%	16.0%	5.3%	8.0%	1.3%		4.0%
50代	(150)	39.3%	12.0%	14.0%	14.0%	10.7%	6.0%	2.7%		1.3%
60代以上	(150)	37.3%	14.7%	15.3%	5.3%	14.7%	6.7%	1.3%	0.7%	4.0%
中京圏	(300)	43.7%	20.7%	9.7%	3.7%	9.3%	7.7%			4.7%
10代	(49)	55.1%	20.4%	4.1%	6.1%	4.1%	6.1%			4.1%
20代	(51)	49.0%	27.5%	5.9%	3.9%	5.9%	3.9%			3.9%
30代	(50)	36.0%	32.0%	6.0%	4.0%	8.0%	10.0%		2.0%	2.0%
40代	(50)	44.0%	14.0%	8.0%	6.0%	10.0%	10.0%		2.0%	6.0%
50代	(50)	48.0%	22.0%	10.0%		12.0%	2.0%			6.0%
60代以上	(50)	30.0%	24.0%	2.0%	16.0%	14.0%				6.0%
中国・四国	(1,500)	35.1%	18.7%	13.1%	10.9%	9.0%	7.5%	1.1%	0.5%	4.1%
10代	(47)	31.9%	23.4%		2.7%	6.4%	8.5%			2.1%
20代	(421)	45.6%	21.1%	3.3%	12.6%	3.3%	7.1%	1.2%		5.7%
30代	(281)	36.7%	24.9%	6.8%	11.7%	9.3%	6.8%		0.7%	3.2%
40代	(251)	34.7%	20.3%	13.5%	8.0%	9.2%	8.4%	1.6%	0.4%	4.0%
50代	(250)		14.8%	23.6%	9.6%	10.0%	8.0%	1.6%	0.4%	4.4%
60代以上	(250)		26.4%	8.0%	17.6%	7.2%	1.6%	1.2%		2.8%
九州圏	(300)	38.0%	18.7%	12.0%	9.0%	12.7%	4.7%	0.7%	0.7%	3.7%
10代	(24)	45.8%	25.0%	16.7%	8.3%					4.2%
20代	(76)	42.1%	25.0%	3.9%	7.9%	7.9%	7.9%	1.3%	1.3%	2.6%
30代	(50)	40.0%	22.0%	6.0%	16.0%	8.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
40代	(50)	40.0%	16.0%	10.0%	10.0%	18.0%	4.0%			2.0%
50代	(50)	34.0%	12.0%	18.0%	8.0%	8.0%	8.0%			12.0%
60代以上	(50)	28.0%	12.0%	24.0%	4.0%	30.0%	2.0%			

2-3. 鳥取県に対するイメージ

- ◆『鳥取県』に対して最もあてはまるイメージについて、「地味」(19%)、「田舎」(18%)、「のんびり」(17%)だけで過半数(54%)を占めている。以下、「遠い」(8%)、「過疎」(6%)、「美しい」(4%)の順で続く。
- ◆トップ3項目はこの3年変わらないが、前回トップの「田舎」が約5pt減少し、2位に落ちている。
- ◆全体的なイメージ醸成にそれほど大きな変化はみられないが、ただ、「わからない・特にない」との回答がやや増加。
 - エリア別にみると、中京で「遠い」イメージがやや高いが、全体的にそれほど遠いはみられない。

Q6. あなたが鳥取県に対して持っているイメージに最もあてはまるものを、1つ選んでください。(ひとつだけ)



(n)		地味	田舎	のんびり	遠い	過疎	美しい	暗い	保守的	明るい	豊か	安全	閉鎖的	開放的	活気がある	近い	貧しい	先進的	国際的	その他	わからない・特にない	
2013年全体	(5400)	17.2	21.7	17.7	7.3	6.2	5.3	3.6	3.5	1.4	0.9	1.5	0.8	0.4	0.3	0.0	0.1	1.1	11.1			
2014年全体	(5400)	17.8	22.9	17.1	7.6	6.3	4.8	3.3	3.1	1.5	1.0	1.5	0.7	0.4	0.4	0.0	0.1	1.3	10.2			
2015年全体	(5400)	18.6	18.2	16.7	8.0	6.0	3.7	3.3	2.7	1.4	1.2	1.0	0.9	0.9	0.6	0.5	0.4	0.1	1.0	14.6		
エリア	首都圏	(2400)	17.4	15.5	14.5	11.8	6.1	3.2	2.9	2.8	1.5	1.4	1.0	0.7	1.1	0.8	0.0	0.5	0.1	0.2	0.8	17.7
	関西圏	(900)	20.4	22.6	19.1	3.8	4.7	4.1	2.1	2.8	1.7	1.3	1.4	0.6	0.8	0.2	1.0	0.6	0.1	-	1.2	11.6
	中京	(300)	18.7	14.3	16.0	14.0	7.3	4.3	4.0	2.3	1.0	0.7	0.3	1.0	-	0.7	-	0.3	-	-	1.3	13.7
	中国・四国	(1500)	19.3	20.0	19.1	3.9	5.6	4.2	4.9	2.7	1.3	0.9	0.9	1.3	0.8	0.5	1.3	0.3	0.2	0.1	1.1	11.9
	九州圏	(300)	20.3	22.0	16.3	4.0	10.3	3.0	1.3	1.7	0.3	1.3	2.0	1.0	0.3	0.7	-	0.3	0.3	-	0.7	14.0

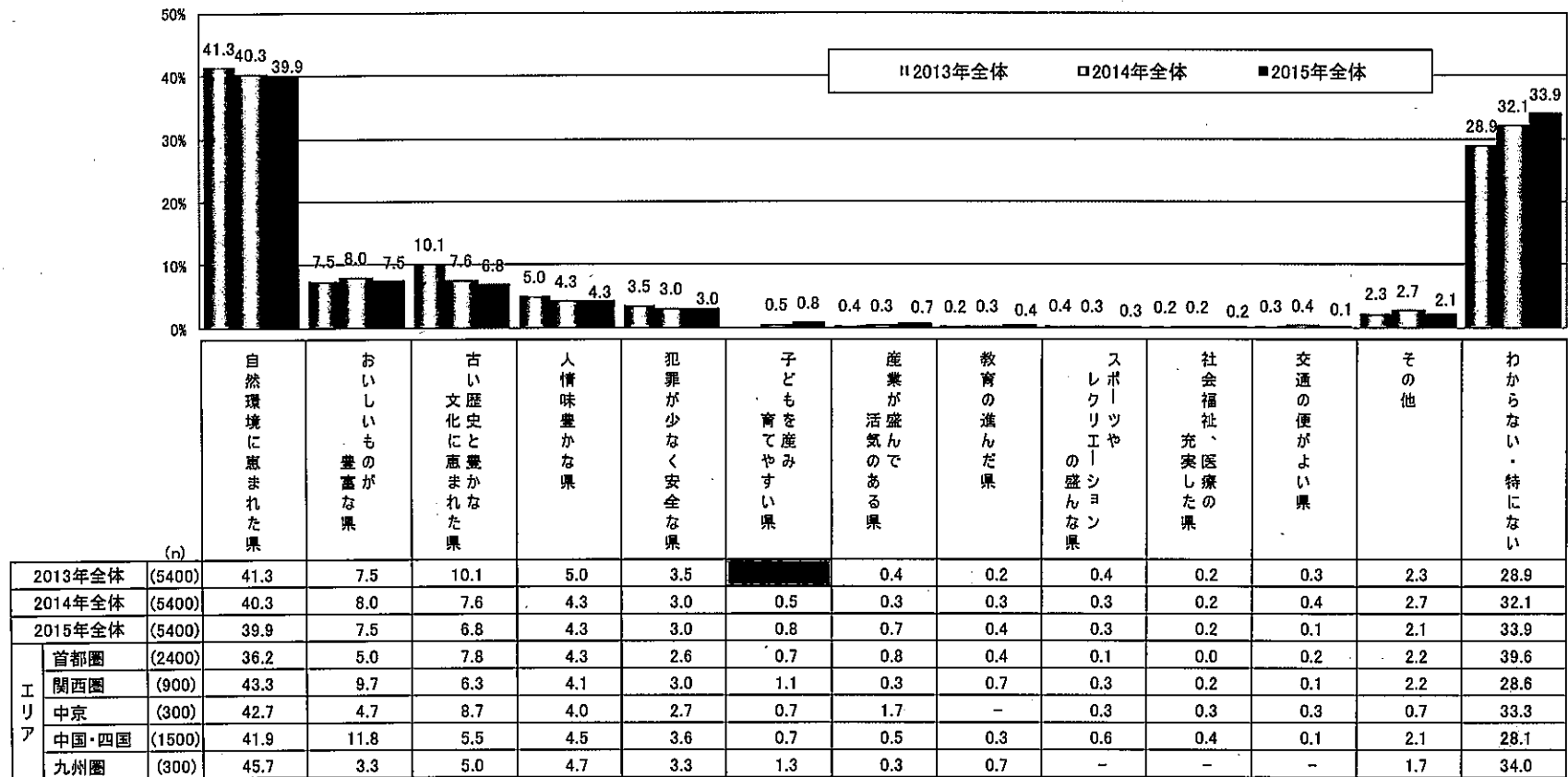
※「豊か」「近い」は新規項目。

【対象者:全員】

2-4. 鳥取県に最もあてはまる県のイメージ

- ◆ 『鳥取県』に対して最もあてはまると思うイメージについて、「自然環境に恵まれた県」が圧倒的に高く4割を占めた。以下、「おいしいものが豊富な県」(8%)、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(7%)等が1割弱。一方、3人に1人が「わからない・特にない」と回答。
- ◆ 時この3年間で殆ど動きはないが、「わからない・特にない」の微増傾向が続いている。
 - エリア別では、九州圏で「自然環境に恵まれた県」イメージがやや高い。一方、首都圏では「わからない・特にない」が4割を占めており、他エリアに比べてやや高い。

Q7. あなたは鳥取県をどのような県だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

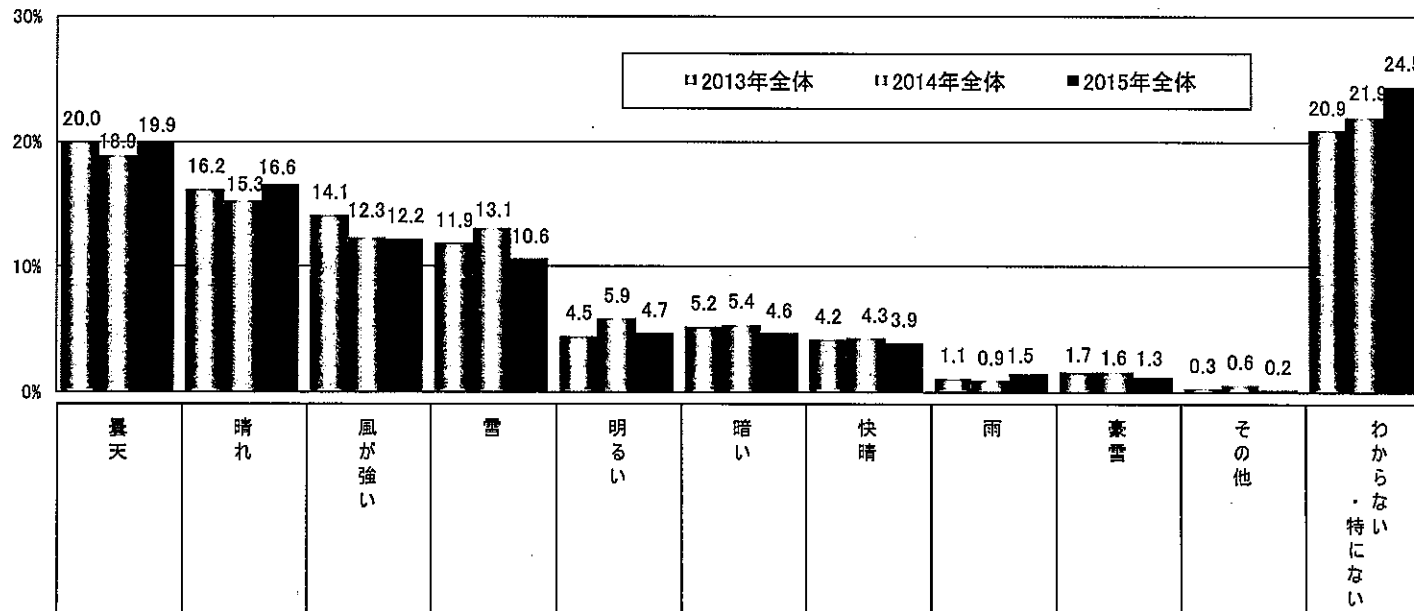


【対象者: 全員】

2-5. 鳥取県の天候に対するイメージ

- ◆ 『鳥取県』の天候に対して持っているイメージについて、「曇天」(20%)がトップ。以下、「晴れ」(17%)、「風が強い」(12%)、「雪」(11%)が僅差で続く。このトップ4だけで6割弱を占めている。一方、4人に1人は「わからない・特にない」と回答。
- ◆ 時系列で見ると、3位・4位が入れ替わったが、トップ4は依然として変わらず、イメージ醸成はほぼ固定化の傾向。なお、「わからない・特にない」の割合が微増傾向となっている。
- エリア別で見ると、中国・四国において「雪」のイメージが目立つ。一方、首都圏では「わからない・特にない」がやや高い。

Q8. あなたが鳥取県の天候に対して持っているイメージに最も当てはまるものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



エリア	(n)	イメージ											
		曇天	晴れ	風が強い	雪	明るい	暗い	快晴	雨	豪雪	その他	わからない・特にない	
2013年全体	(5400)	20.0	16.2	14.1	11.9	4.5	5.2	4.2	1.1	1.7	0.3	20.9	
2014年全体	(5400)	18.9	15.3	12.3	13.1	5.9	5.4	4.3	0.9	1.6	0.6	21.9	
2015年全体	(5400)	19.9	16.6	12.2	10.6	4.7	4.6	3.9	1.5	1.3	0.2	24.5	
エリア	首都圏	(2400)	17.7	18.7	12.0	4.8	5.5	4.8	4.4	1.0	0.6	0.1	30.5
	関西圏	(900)	20.7	18.8	11.2	11.4	6.3	4.2	4.0	1.1	1.0	0.2	21.0
	中京	(300)	21.7	18.3	14.7	5.0	5.3	3.0	7.7	1.3	-	-	23.0
	中国・四国	(1500)	22.5	11.4	12.1	20.9	2.7	5.1	2.5	2.6	2.6	0.3	17.2
	九州圏	(300)	20.7	17.3	14.7	8.3	3.0	4.7	3.3	1.0	2.0	0.3	24.7

【対象者: 全員】

2-6. 鳥取県に関連する有名人

- 鳥取県に関連する有名人については、「知らない」が過半数(回答率63.1%)を占める。
- 以下「水木しげる(16.3%)」「イモトアヤコ(3.8%)」「石破しげる(2.5%)」「青山剛昌(1.8%)」など全国的な著名人が続中、「平井伸治(知事)(1.3%)」が上げられている。
- 「ゲゲゲの鬼太郎」「江戸川コナン」などの架空の人物(妖怪)や、「錦織圭」「小泉八雲」「吉田くん」などの鳥根県にゆかりのある人物等の回答もみられる。

Q9.「鳥取県」に関連する有名人で、あなたがまず思い浮かべる人物を1名お書きください。(自由回答)

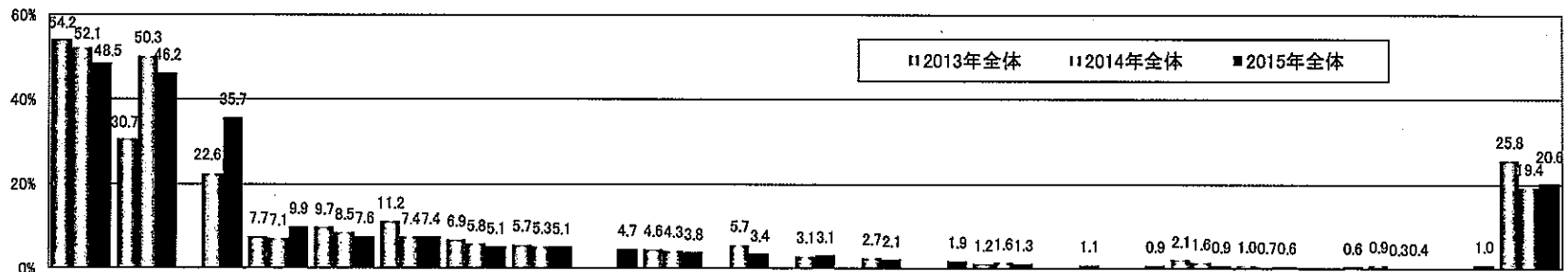
順位	有名人	回答数	順位	有名人	回答数	順位	有名人	回答数	順位	有名人	回答数
1	知らない	3,406	21	岡野雅行	9	37	岡田達也	3	45	漫画家	2
2	水木しげる	880	22	大国主命	8		宮川大助	3		遠藤章造	2
3	イモトアヤコ	207		蓮佛美沙子	8		羽鳥慎一	3		相沢英之	2
4	石破茂	136		植田正治	8		山本隆弘	3		山本舞香	2
5	青山剛昌	101		竹下登	8	45	マツコ・デラックス	2		その他	144
6	平井伸治(知事)	74		江角マキコ	8		山下佐知子	2		総回答数(複数回答あり)	5,402
7	ゲゲゲの鬼太郎	53	27	中野郁海	7		トリビー	2			
8	瀧本美織	52		水木一郎	7		近藤孝行	2			
9	沢田研二	45	29	小林繁	6		らくだ	2			
10	片山善博(前知事)	26		吉川経家	6		青島	2			
11	司葉子	24	31	川口和久	5		宮川大輔	2			
12	錦織圭	22		琴桜	5		宮根誠司	2			
13	江戸川コナン	21	33	佐野史郎	4		中原誠	2			
14	小野ヤスシ	19		ネゴシックス	4		加藤伸一	2			
15	小泉八雲	15		鳥羽一郎	4		MALTA	2			
16	上田まりえ	13		砂丘	4		鬼塚喜八郎	2			
17	トリンドル玲奈	12	37	鳥居みゆき	3		鳥取一郎	2			
18	吉田くん(鷹の爪団)	11		市長	3		香取慎吾	2			
	下田麻美	11		能見篤史	3		高杉晋作	2			
20	水森かおり	10		アムロ・レイ	3		遠藤周作	2			

【対象者:全員】

3-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題

- ◆ 最近の『鳥取県』に関連した話題で聞いたことがあるものと、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(49%)、「スターバックスが都道府県で最後にオープン・すなば珈琲」(46%)、「鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港」(36%)がトップ3。それ以外の話題は、いずれも1割以下にとどまる。
- ◆ 時系列でみると、新規話題も増えたため一概には比較できないが、「鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港」が前回から13pt上昇したのが目立つ。
 - ▶ エリア別にみると、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」の話題性は、地元に近い中国・四国で特に高い。一方、首都圏では4割弱にとどまる。

Q10. 最近の鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるもの全てを選んでください。(いくつでも)



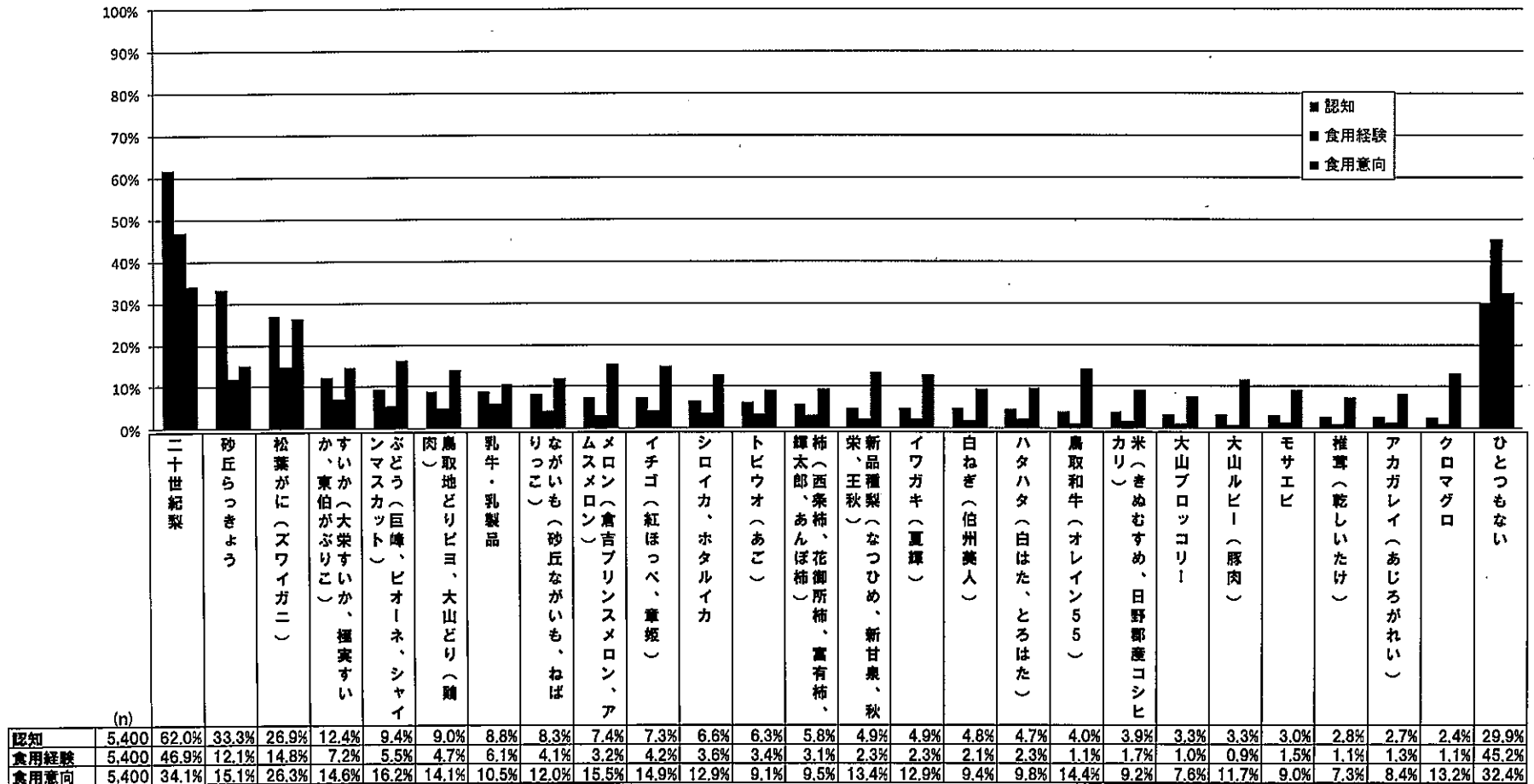
エリア	(n)	話題																				ひとつもない (%)		
		ゲゲゲのふるさと鳥取県	スターバックスが都道府県で最後にオープン・すなば珈琲	鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港	山陰海岸ジオパーク	まんが王国とっとり	全天候型砂像展示施設「砂の美術館」	鳥取自動車道(姫路鳥取線)の全線開通(無料)	山陰で唯一のJ加盟 サッカークラブ・ガイナレ鳥取	三徳山・三朝温泉の日本遺産登録	食のみやこ鳥取県	盤取県に改名・ウエルカニキャンペーン	鳥取、岡山共同アンテナショップ(とっとり・おかやま新橋館)	鳥取の民芸・民芸品	特選とっとり松葉がに 五輝星(いつきぼし)	子育て王国とっとり	平成29年3月運行開始のトワイライトエクスプレスー瑞風(みずかぜ)ー鳥取駅・東浜駅に停車	きのこ王国とっとり	鳥取方式の芝生化	手話言語条例の制定	手話パフォーマー・マンス甲子園の開催		環日本海航路(北東アジアゲートウェイ)	その他
2013年全体	(5400)	54.2	30.7	22.6	7.7	9.7	11.2	6.9	5.7	4.6	5.7	3.1	2.7	1.9	1.2	1.1	0.9	2.1	1.0	0.6	0.6	0.9	1.0	25.8
2014年全体	(5400)	52.1	50.3	22.6	7.1	8.5	7.4	5.8	5.3	4.3	5.7	3.1	2.7	1.6	1.6	0.9	0.9	1.6	0.7	0.6	0.6	0.4	1.0	19.4
2015年全体	(5400)	48.5	46.2	35.7	9.9	7.6	7.4	5.1	5.1	3.8	3.4	3.1	2.1	1.9	1.3	1.1	0.9	0.9	0.6	0.6	0.4	1.0	20.6	
首都圏	(2400)	38.1	43.8	30.2	5.4	4.7	4.2	2.3	4.7	2.8	2.6	2.0	2.2	1.6	1.0	0.8	1.0	0.7	0.6	0.7	0.5	1.1	27.0	
関西圏	(900)	53.7	45.3	38.0	19.4	10.2	9.7	9.6	4.2	6.4	5.6	4.3	1.1	2.4	1.9	1.9	1.1	1.0	0.4	0.2	0.1	0.8	17.2	
中京	(300)	47.7	46.3	31.7	6.3	4.0	4.3	3.7	2.0	2.7	2.3	1.0	0.3	0.7	-	0.7	-	0.3	0.7	0.7	0.3	2.0	20.3	
中国・四国	(1500)	62.2	49.1	44.8	13.0	12.2	12.6	7.7	7.1	7.5	3.9	4.9	6.9	1.8	2.9	1.7	1.1	0.9	1.3	0.8	0.6	0.2	0.9	13.3
九州圏	(300)	48.7	54.7	31.7	5.0	4.0	4.3	3.0	4.3	2.0	2.3	1.7	3.7	2.0	1.3	1.0	1.0	0.7	1.0	1.0	0.7	0.3	16.7	

※「スターバックスが都道府県で最後にオープン・すなば珈琲」の2013年・2014年は、「スターバックスが全国で唯一無い県」で聴取。「鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港」の2014年は、「鳥取砂丘コナン空港の愛称化」で聴取。【対象者：全員】
 ※「山陰海岸ジオパーク」の2013年・2014年は、「山陰海岸ジオパークの世界・ジオネットワーク加盟」で聴取。「鳥取の民芸・民芸品」の2014年は、「鳥取の民芸・民芸品」で聴取。

3-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 (1) 全体一覧(2015年)

- ◆ 『鳥取県』の「特産物」で特に認知率が高いのは「二十世紀梨」(62%)、「砂丘らっきょう」(33%)、「松葉がに(ズワイガニ、以降省略)」(27%)等が続く。
- ◆ 食用経験がある「特産物」でも「二十世紀梨」(47%)が突出傾向。大差があり「松葉がに」(15%)、「砂丘らっきょう」(12%)の順。
- ◆ 食用意向でも「二十世紀梨」(34%)と「松葉がに」(26%)が上位。「ぶどう」「メロン」「砂丘らっきょう」「イチゴ」「すいか」等が15~16%で続いている。全ての指標において「二十世紀梨」がトップ。
- ◆ 多くの特産物で認知度・食用経験とも低いが、食用意向が上回っている。

Q11. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが[1]鳥取県が産地であることを知っているもの、[2]鳥取県産で食べたことがあるもの、[3]鳥取県産で食べてみたいと思うものをそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

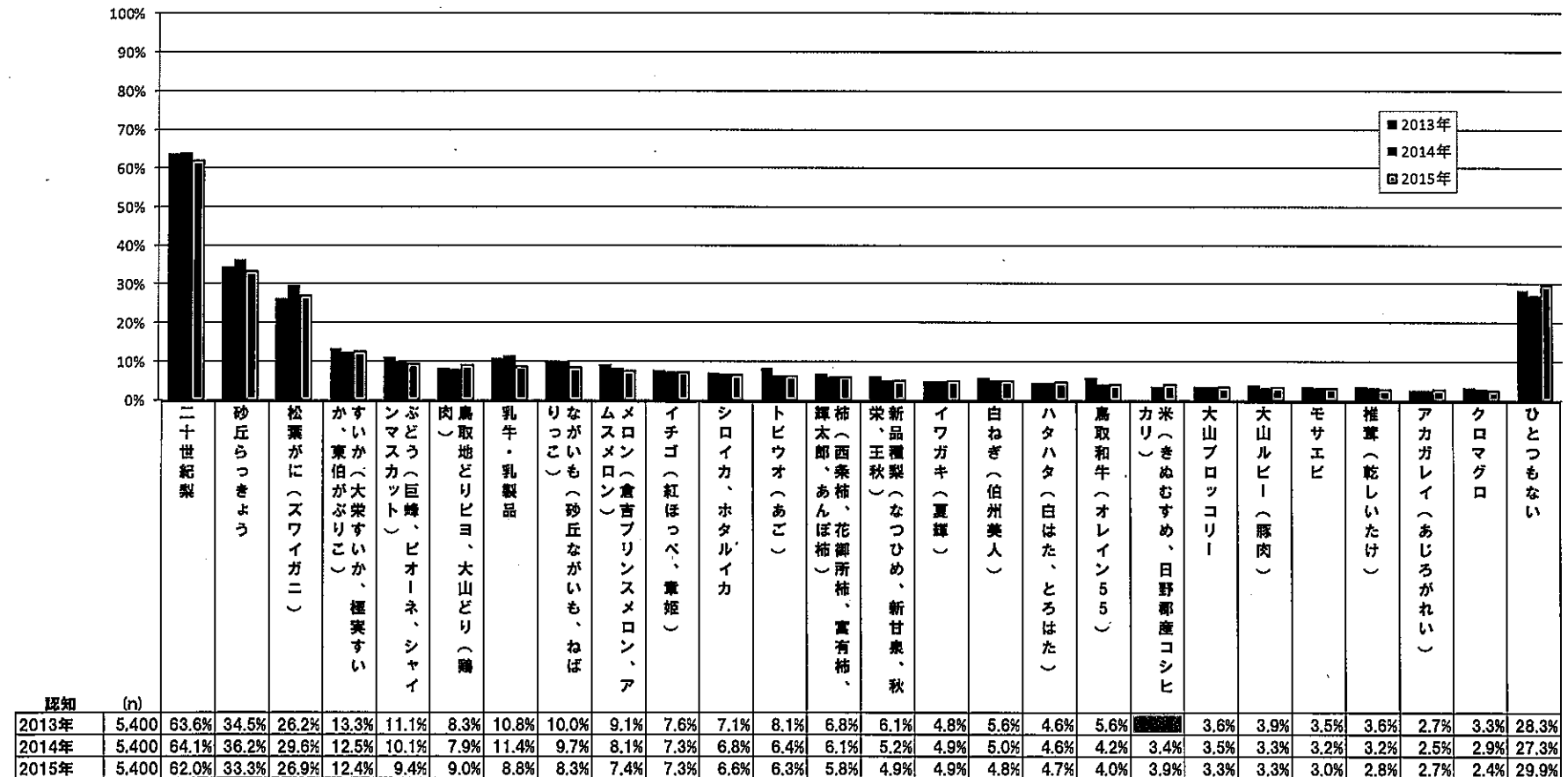


3-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向（2）認知の推移

特産物の認知度については、ほとんどの特産品について2014年よりも回答率が下がっており、「ひとつもない」がわずかながら増えているものの、大勢としては大きな変化はみられない。

Q11. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが[1]鳥取県が産地であることを知っているもの、[2]鳥取県産で食べたことがあるもの、[3]鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。（それぞれいくつでも）

※うち「鳥取県が産地であることを知っているもの」の回答率



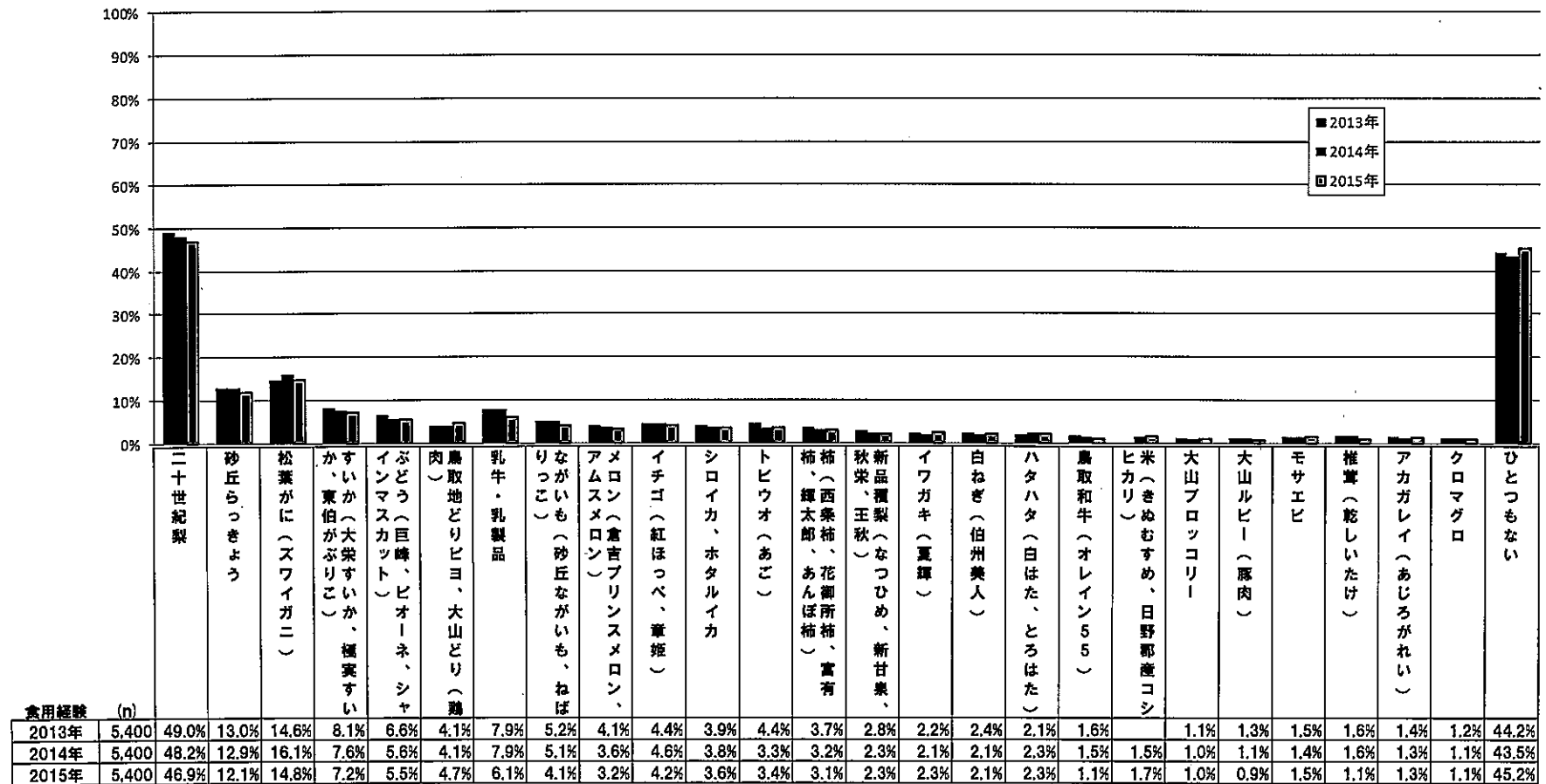
【対象者:全員】

3-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 (3) 食用経験の推移

特産物の食用経験については、ほとんどの特産品について2014年よりも回答率が下がっており、「ひとつもない」がわずかながら増えているものの、大勢としては大きな変化はみられない。

Q11. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが[1]鳥取県が産地であることを知っているもの、[2]鳥取県産で食べたことがあるもの、[3]鳥取県産で食べてみたいと思うものをそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち、「鳥取県産で食べたことがあるもの」の回答率



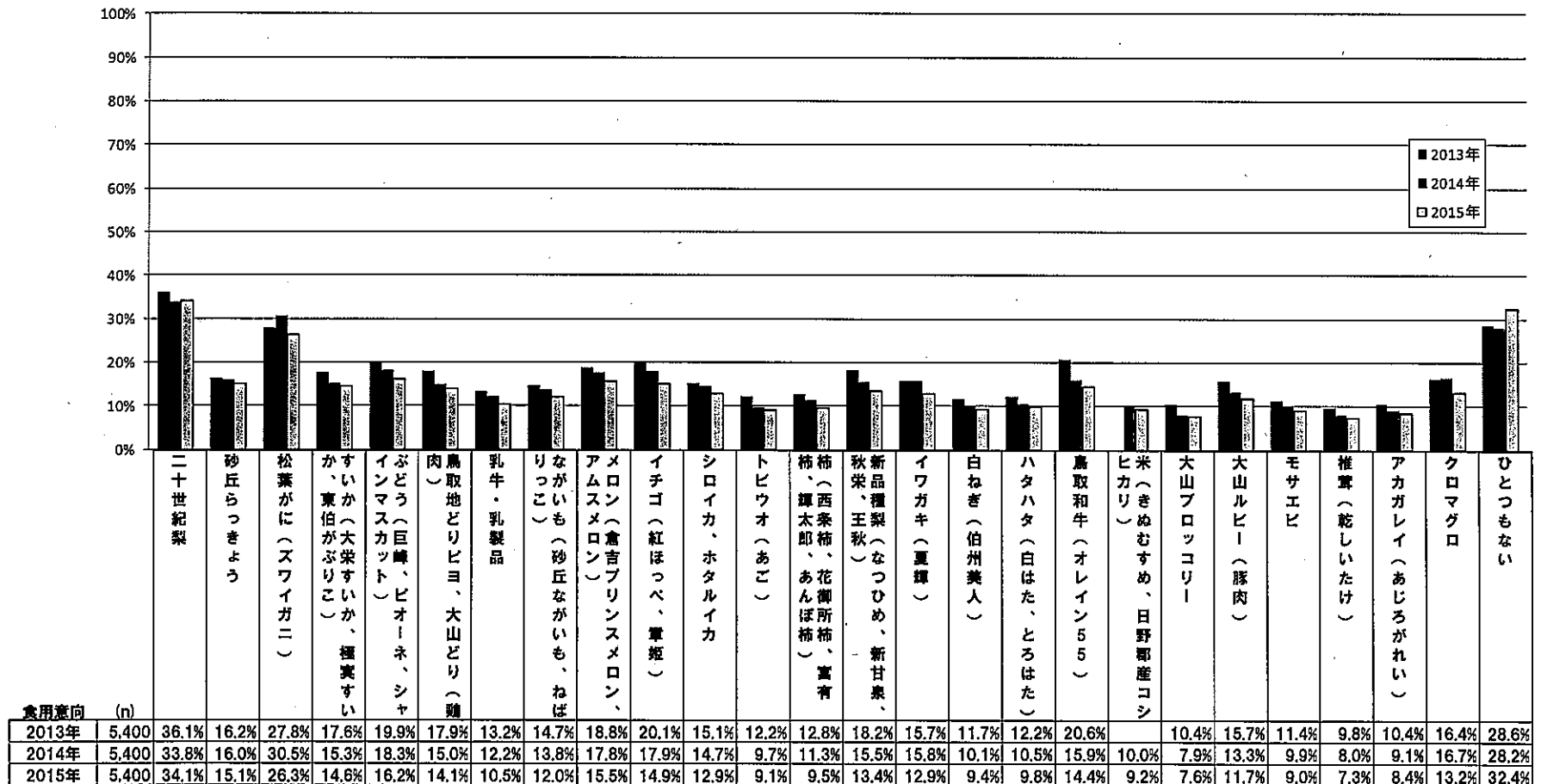
【対象者:全員】

3-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 (4) 食用意向の推移

「食用意向」は2014年に比べて「二十世紀梨」を除く全品目で若干ながら減少しており、特に「松葉がに」「イチゴ」「イワガキ」「クロマグロ」等が3～4pt減少、「ひとつもない」が4pt増加している。

Q11. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが[1]鳥取県が産地であることを知っているもの、[2]鳥取県産で食べたことがあるもの、[3]鳥取県産で食べてみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち、「鳥取県産で食べてみたいと思うもの」の回答率

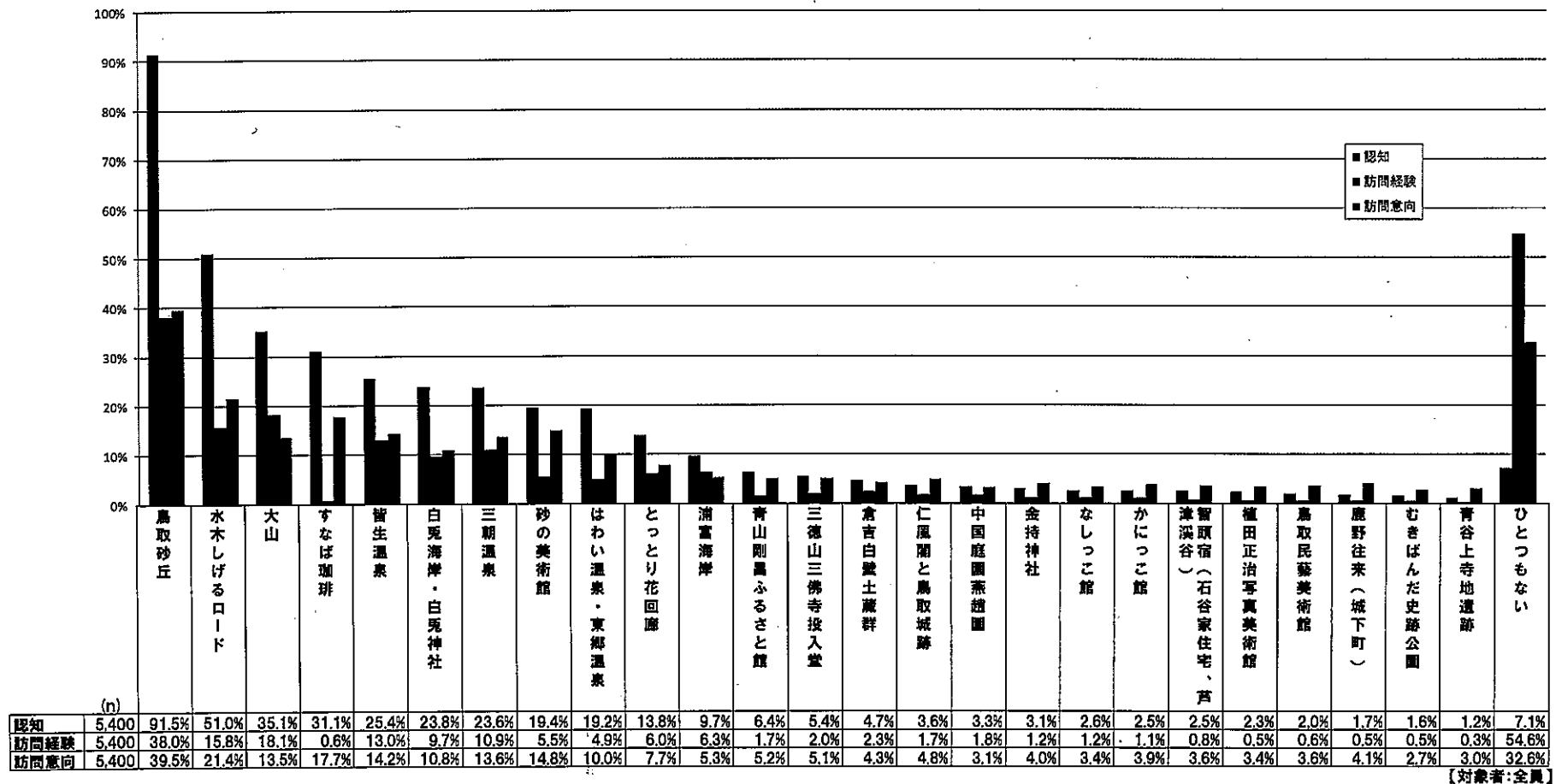


【対象者:全員】

3-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向（1）全体一覧（2015年）

- ◆ 『鳥取県』の「観光地等」の認知率をみると、「鳥取砂丘」(92%)の浸透度が突出傾向。「水木しげるロード」(51%)、「大山」(35%)が続キトップ3。
- ◆ 訪問経験のある場所でも「鳥取砂丘」(38%)が1位。「大山」(18%)、「水木しげるロード」(16%)と続き、45%がいずれか訪問している。
- ◆ また、3人中2人がいずれか訪問意向を示しており、「鳥取砂丘」(40%)、「水木しげるロード」(21%)、新規の「すなば珈琲」(18%)が上位に挙がる。
- ◆ 認知・訪問経験、今後の訪問意向の全てにおいて、「鳥取砂丘」「水木しげるロード」が上位に挙がり、鳥取県の主要な観光地として浸透している。

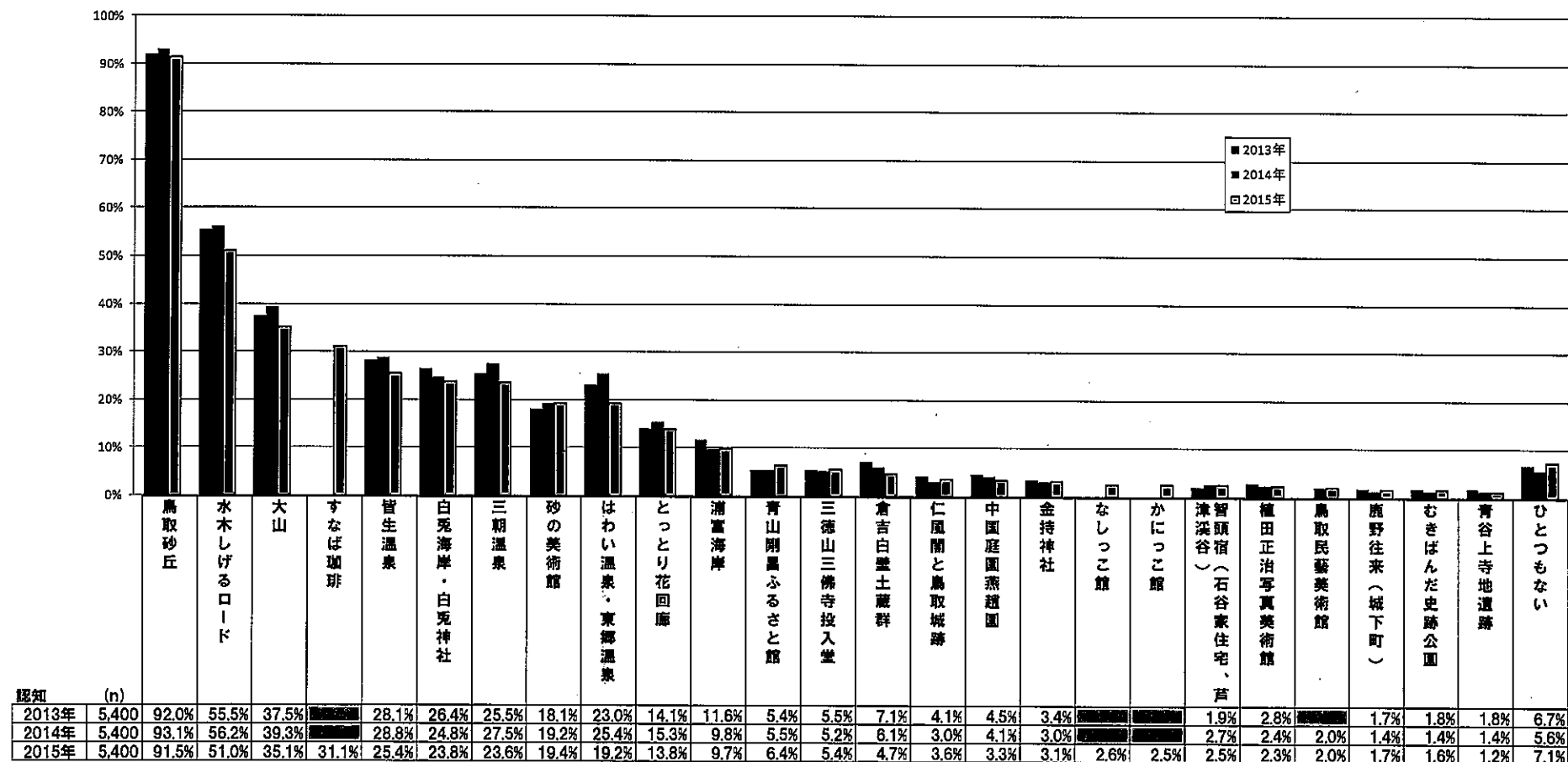
Q12.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。（それぞれいくつでも）



3-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 (2) 認知の推移

- 認知率は、平成25年度は上昇にあったものの多くが微減となっているものの、全体としては大きな変化はない。
- 項目ごとでは、「はわい温泉・東郷温泉」「水木しげるロード」が5~6pt減少。
- 「すなば珈琲」は、比較的高い認知率となっている。

Q12.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)
 ※うち「知っているもの」の回答率

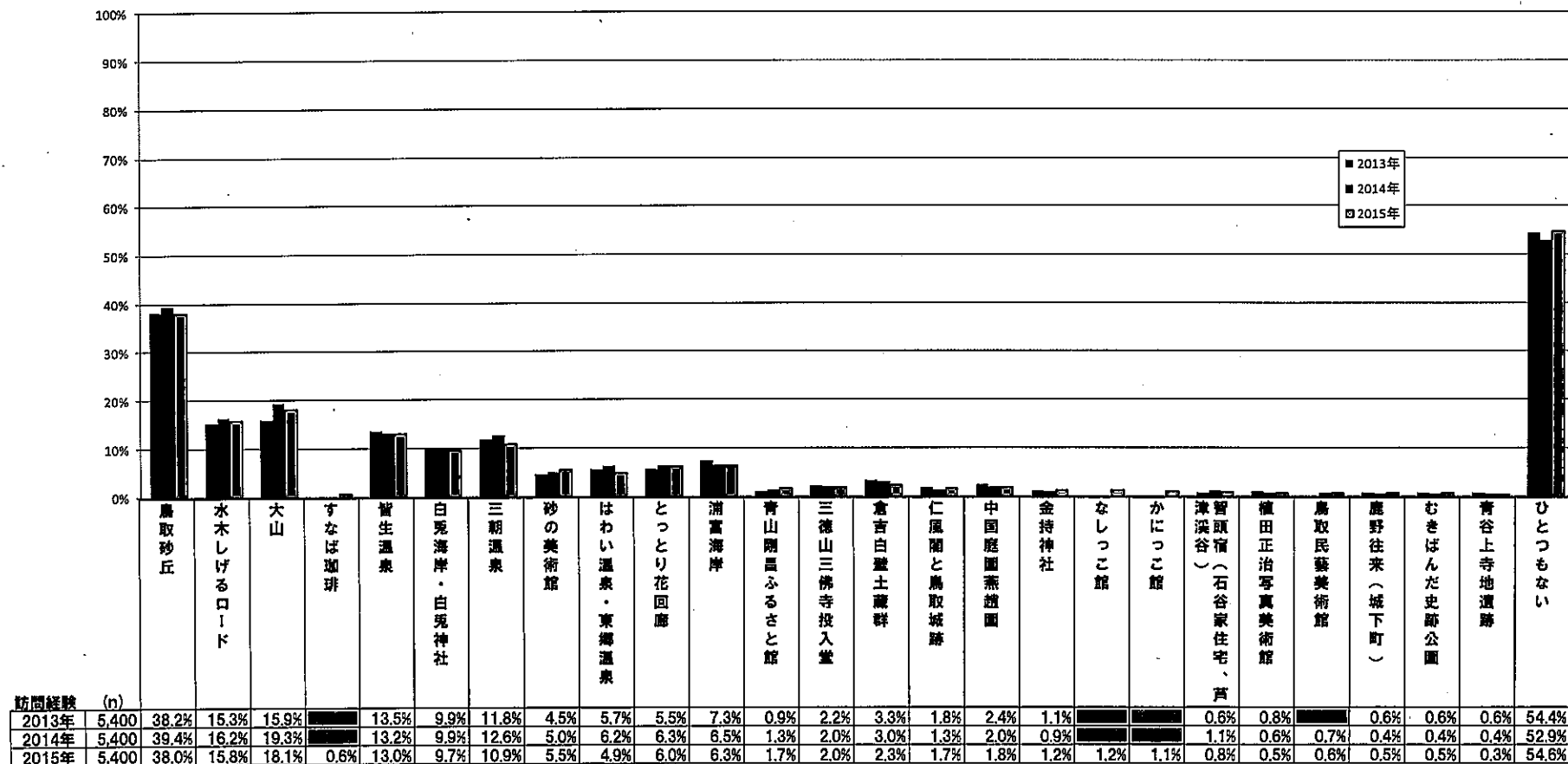


3-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 (3) 訪問経験の推移

➤ 訪問経験は、平成25年度は上昇にあったものの多くが微減となっているが、全体としては大きな変化はない。

Q12.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち「行ったことがあるもの」の回答率



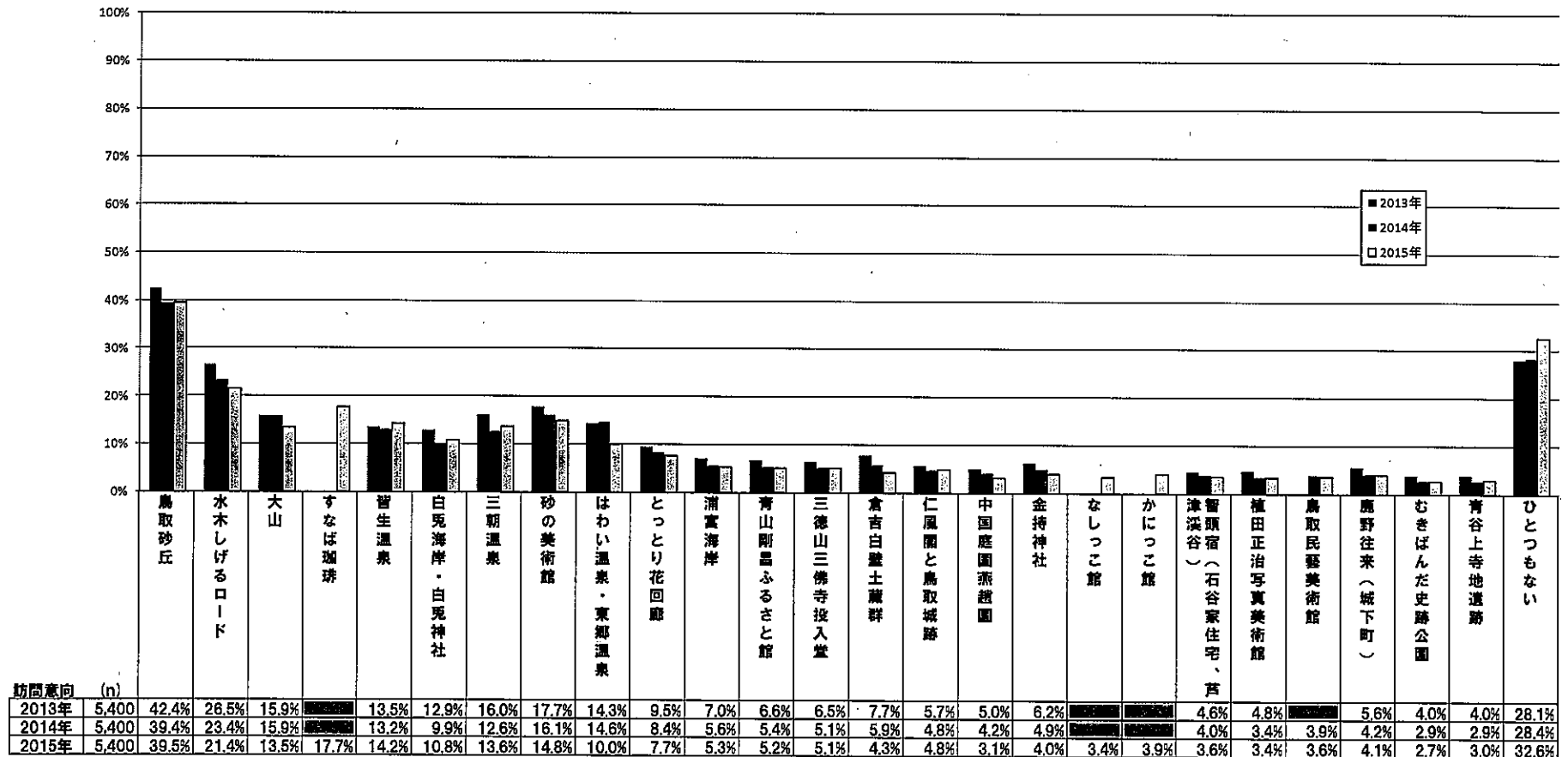
【対象者:全員】

3-3. 鳥取県の「観光地等」の認知・訪問経験・訪問意向 (4)訪問意向の推移

- 訪問意向は、全体として減少傾向にあるが、大きな変化はない。
- 項目ごとでは、「水木しげるロード」が減少傾向にあるほか、「はわい温泉・東郷温泉」が2014年から2015年の間で5pt近く減少している。
- 「ひとつもない」が2014年から2015年の間で4pt近く増えている。

Q12.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

※うち「行ってみたいと思うもの」の回答率

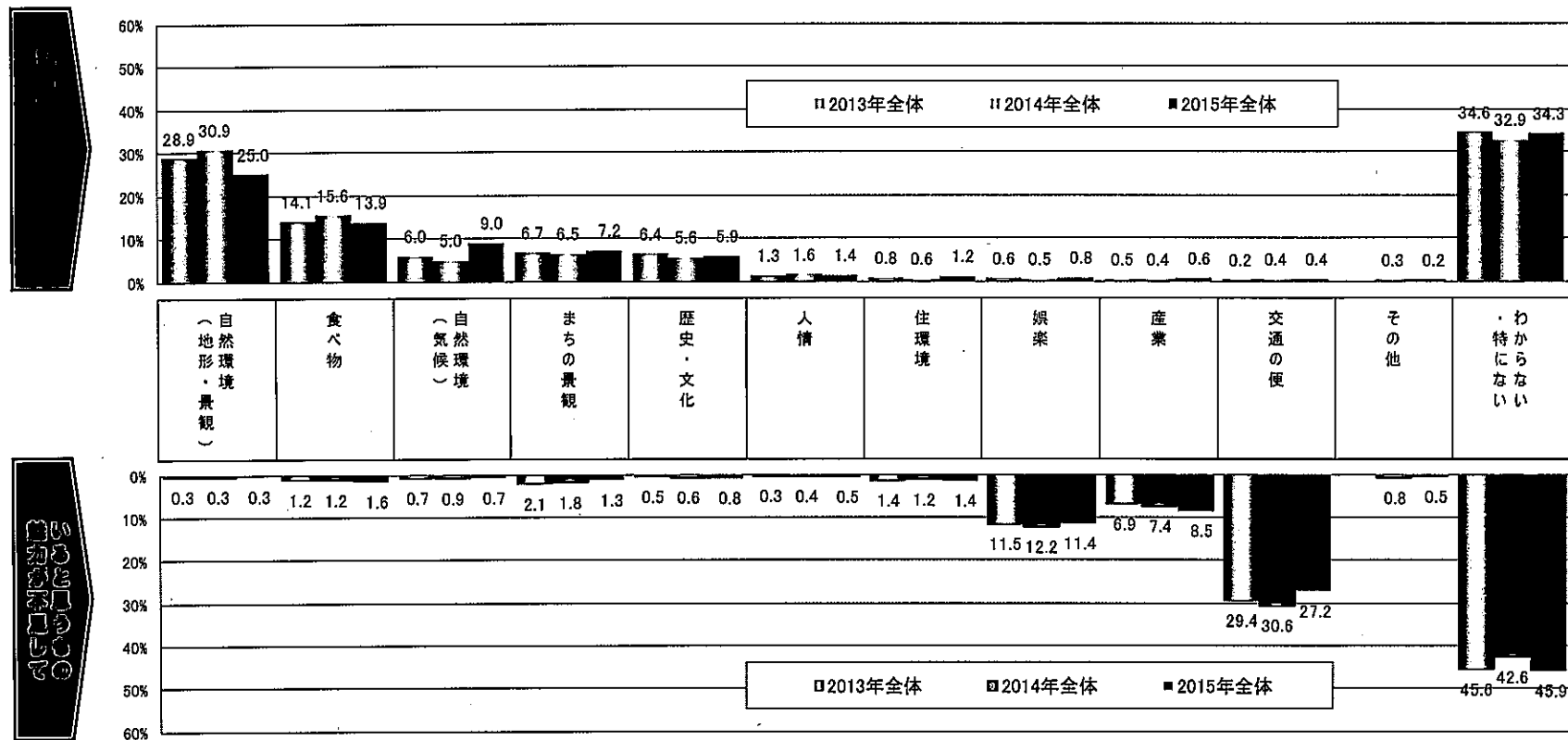


【対象者:全員】

3-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点 (1)全体一覧

- ◆ 『鳥取県』に関して、【魅力的だと思うもの】のトップは「自然環境(地形・景観)」で25%。以下、差があり「食べ物」(14%)、「自然環境(気候)」(9%)、「まちの景観」(7%)の順で続く。
- ◆ 一方、【魅力が不足していると思うもの】では、「交通の便」(27%)が1位。次いで「娯楽」(11%)、「産業」(9%)となっている。
- ◆ 時系列でみると、【魅力点】でトップの「自然環境(地形・景観)」は6pt減少した。また、「自然環境(気候)」は4pt増で、5位→3位へアップしている。なお、【魅力が不足している点】に関してはあまり動きはない。その中で1位の「交通の便」は3pt減で、この3年間で最も低い。

Q13. 鳥取県について、[1]魅力的だと思うもの、[2]魅力が不足していると思うもの、をそれぞれ1つ選んでください。(それぞれひとつだけ)

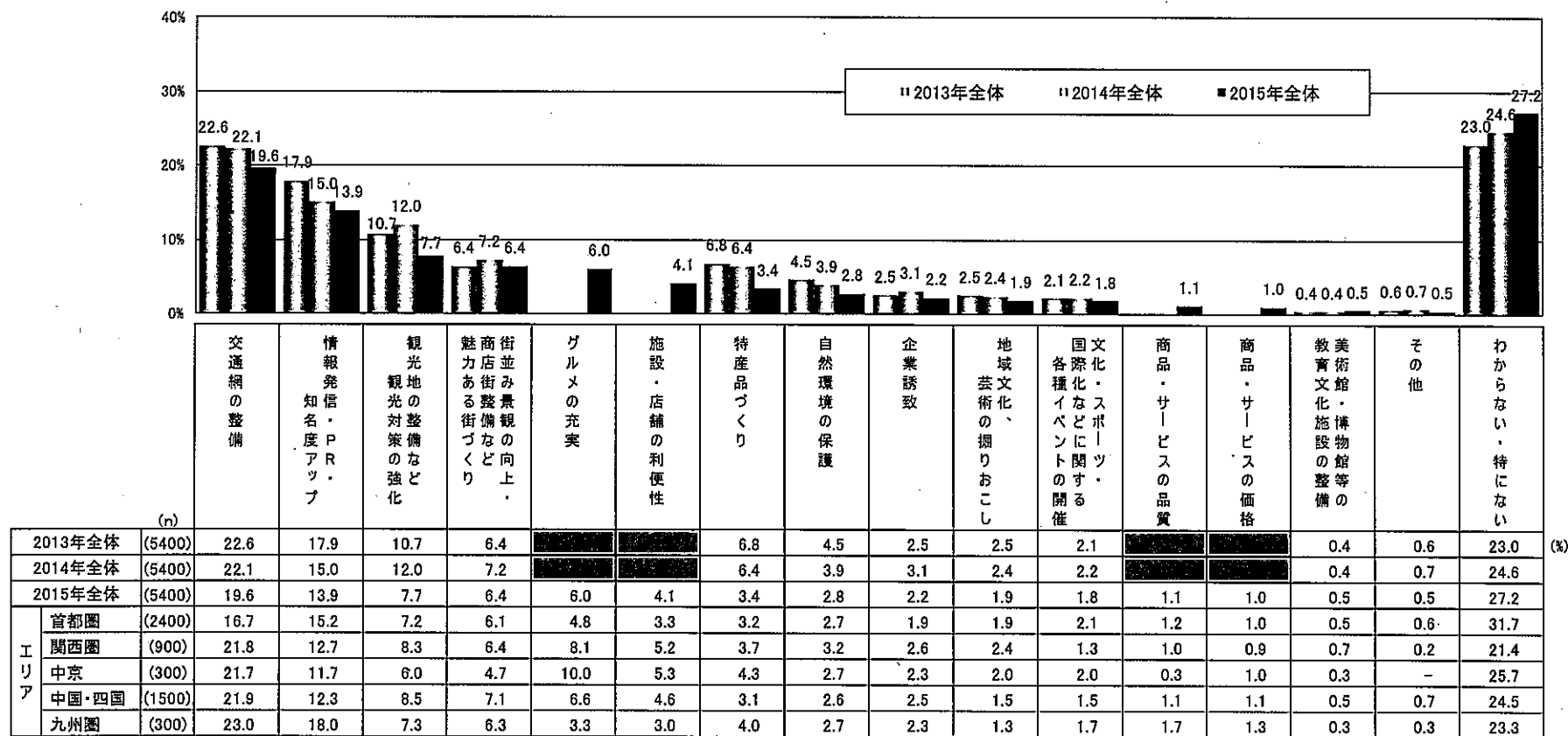


【対象者: 全員】 (n=5400)

3-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野

- ◆ 今後、『鳥取県』の魅力を高めていくために、力を入れていく必要があると思う分野をみると、「交通網の整備」(20%)がトップ。以下、「情報発信・PR・知名度アップ」(14%)、「観光地の整備など観光対策の強化」(8%)の順で続いている。
 - ◆ 時系列でみると、今回4項目が新たに追加されたため一概には比較できないが、トップ3には変動はなかった。但し、スコアはやや落ちる。一方、新規項目の中では「グルメの充実」(6%)が最も高い。なお、「わからない・特にない」に関しては、依然して微増傾向が続いている。
- エリア別でみると、関西圏で「わからない・特にない」との回答がやや低い。

Q14. 鳥取県の魅力を高めていくためには、どのような分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



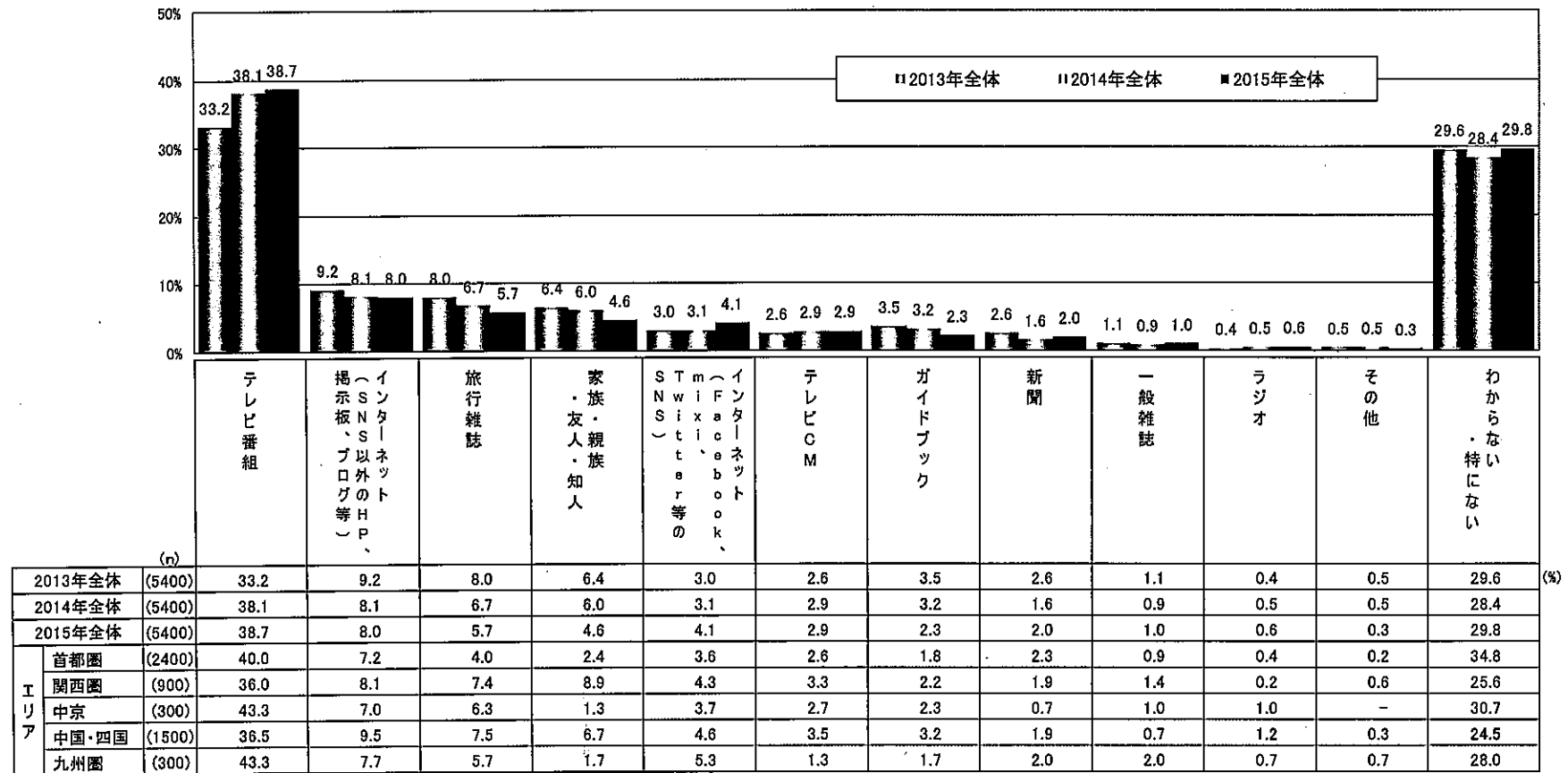
※「美術館・博物館等の教育文化施設の整備」の2013年・2014年は、「教育文化施設の整備」で聴取。

【対象者：全員】

3-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路

- ◆ 『鳥取県』に関する情報の主な入手経路をみると、「テレビ番組」が4割近く(39%)を占めており、主要情報源となっている。以下、大きな差があるが「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」「旅行雑誌」「家族・親族・友人・知人」(5%)の順で続く。
- ◆ 時系列でも、「テレビ番組」が大きな柱という傾向は変わらない。また全体的なスコアも、昨年から殆ど動きはみられない。
 - エリア別にみると、中国・四国において「わからない・特にない」との回答がやや低い。

Q15. あなたは、鳥取県に関する情報を、どこから得ることが多いですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

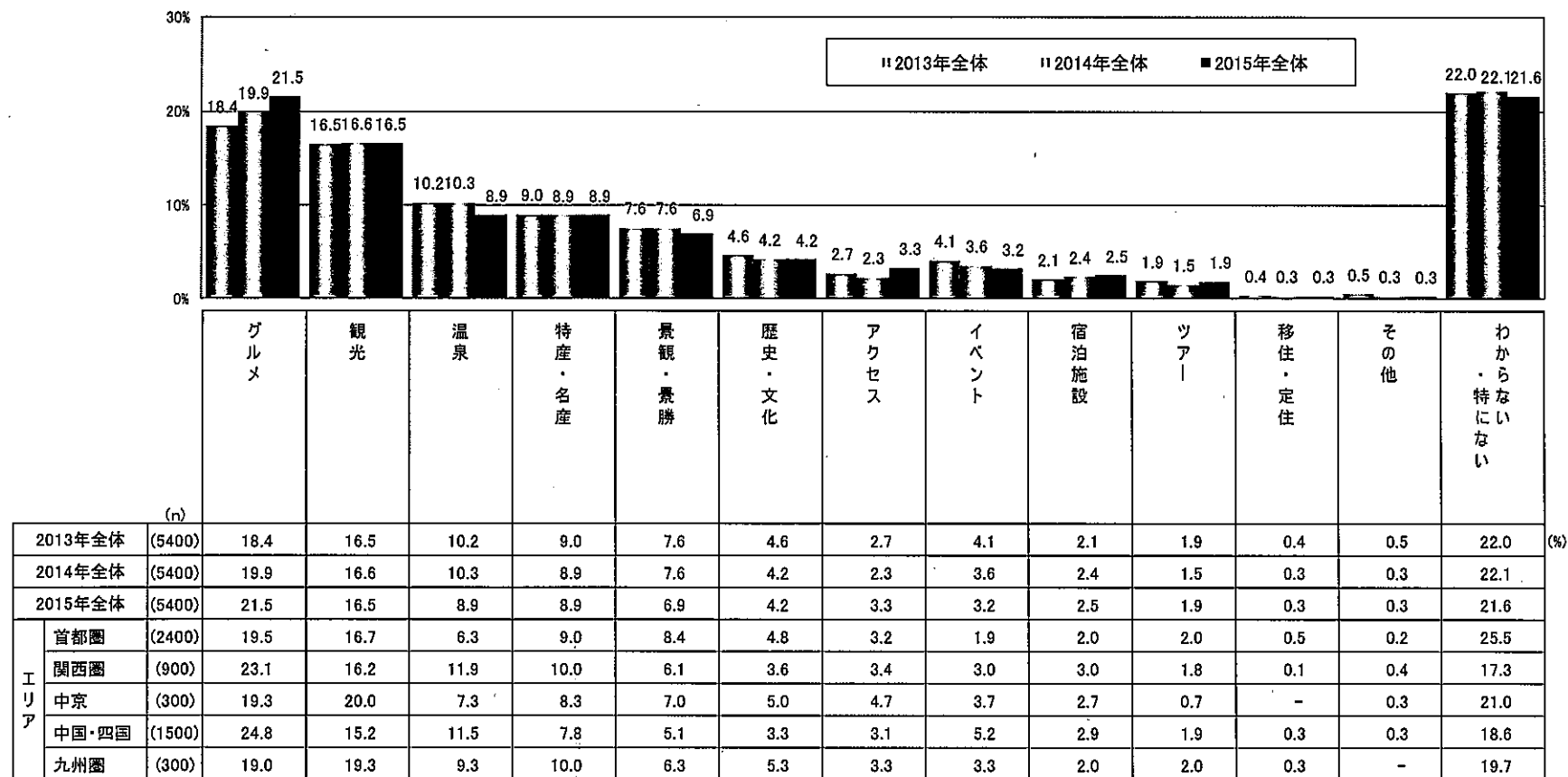


【対象者:全員】

3-7. 鳥取県について得たい情報

- ◆ 『鳥取県』に関して、今後最も得たいと思う情報を1つだけ選んでもらった結果、1位は「グルメ」(22%)、2位は「観光」(17%)が挙がる。3位グループは、「温泉」「特産・名産」(各9%)、「景観・景勝」(7%)などが1割弱で並んでいる。
- ◆ 時系列で見ると、トップの「グルメ」は微増傾向にあり、動きのない2位「観光」との差が5ptに広がる。3位以下はあまり変化はみられない。
- > エリア別に見ると、各エリアとも「グルメ」や「観光」中心は変わらないが、中京と九州圏では両者は拮抗している。

Q16. 鳥取県について、あなたは、今後どのような情報を得たいですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



【対象者: 全員】

4-1. 鳥取県への訪問意向

- ◆ 『鳥取県』への訪問意向をみると、「行ってみたい」と答えた人は71%。
- ◆ 時系列でみると、「行ってみたい」の割合は昨年比べて約3pt減少したが、依然として7割強で推移している。
 - エリア別でみると、首都圏の訪問意向率(67%)が最も低かった。
 - エリア×年代別では、各エリアとも比較的高年層ほど訪問意向が高い。特に、関西圏、中国・四国の60代以上、中京40代で顕著。それ以外にも、中国・四国50代、九州圏の20代、50代以上でもやや高い。一方、首都圏の30代以下、中京10代、九州圏30代において、訪問意向率が相対的に低めの傾向。

Q17. あなたは、鳥取県に行ってみたくと思いますか。(ひとつだけ)

		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2013年全体		(5400)	73.1	26.9
2014年全体		(5400)	74.1	25.9
2015年全体		(5400)	71.2	28.8
エリア×年代	首都圏	(2400)	66.8	33.3
	10代	(139)	61.2	38.8
	20代	(661)	62.2	37.8
	30代	(400)	66.0	34.0
	40代	(400)	68.3	31.8
	50代	(400)	70.8	29.3
	60代以上	(400)	71.5	28.5
	関西圏	(900)	76.1	23.9
	10代	(107)	72.0	28.0
	20代	(193)	72.0	28.0
	30代	(150)	76.0	24.0
	40代	(150)	74.0	26.0
	50代	(150)	74.7	25.3
	60代以上	(150)	88.0	12.0
	中京	(300)	71.7	28.3
	10代	(49)	63.3	36.7
	20代	(51)	68.6	31.4
	30代	(50)	70.0	30.0
	40代	(50)	86.0	14.0
	50代	(50)	70.0	30.0
	60代以上	(50)	72.0	28.0

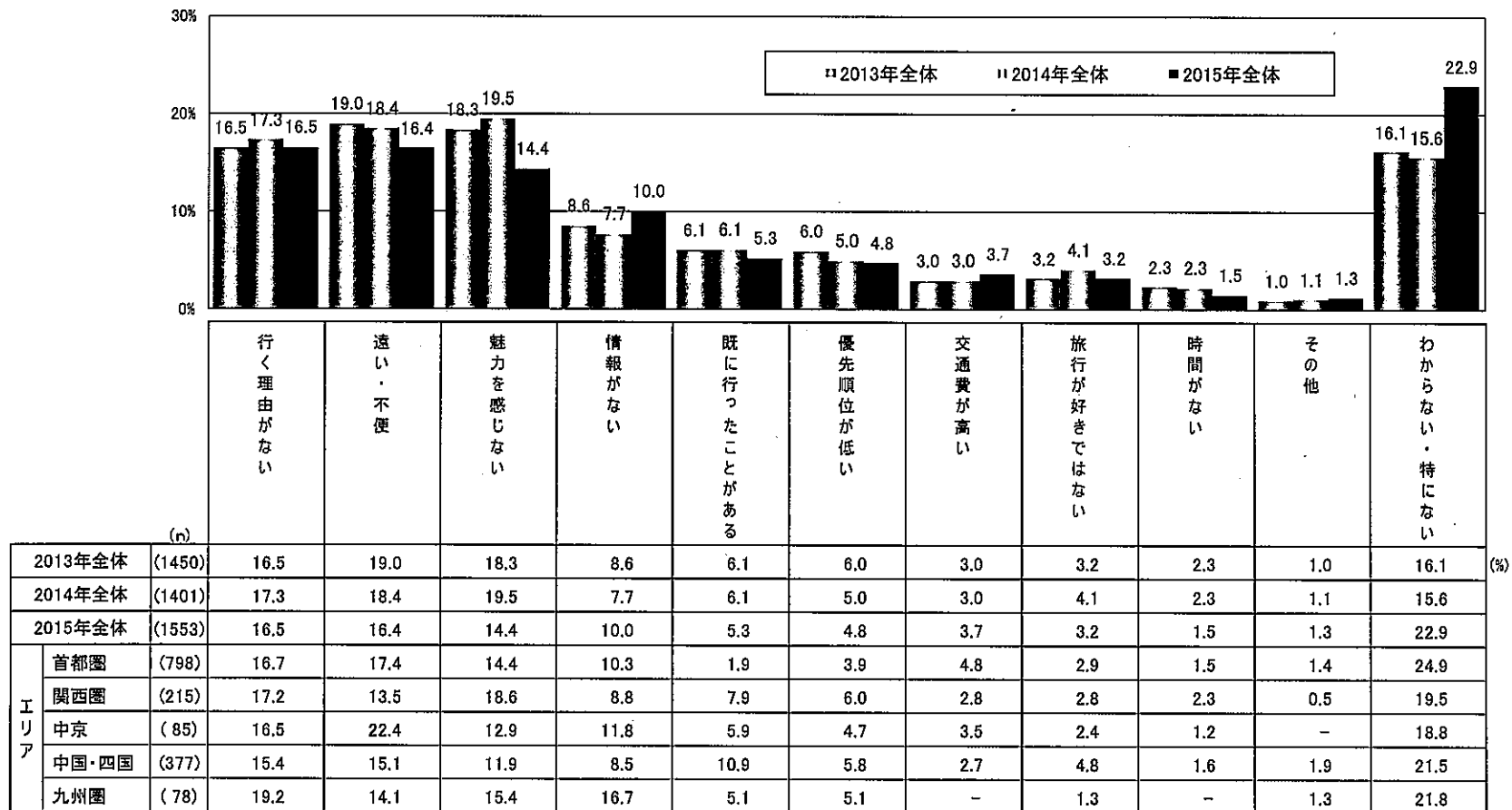
		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2013年全体		(5400)	73.1	26.9
2014年全体		(5400)	74.1	25.9
2015年全体		(5400)	71.2	28.8
エリア×年代	中国・四国	(1500)	74.9	25.1
	10代	(47)	70.2	29.8
	20代	(421)	69.6	30.4
	30代	(281)	73.0	27.0
	40代	(251)	75.3	24.7
	50代	(250)	79.6	20.4
	60代以上	(250)	81.6	18.4
	九州圏	(300)	74.0	26.0
	10代	(24)	58.3	41.7
	20代	(76)	76.3	23.7
	30代	(50)	66.0	34.0
	40代	(50)	76.0	24.0
	50代	(50)	78.0	22.0
60代以上	(50)	80.0	20.0	

【対象者: 全員】

4-2. 鳥取県への非訪問意向理由

- ◆ 『鳥取県』に「行きたくない」と回答した人の理由をみると、「行く理由がない」(17%)、「遠い・不便」(16%)、「魅力を感じない」(14%)がトップ3。
- ◆ 時系列で見ると、昨年トップの「魅力を感じない」が5pt減少し、3位に落ちた。一方、3位だった「行く理由がない」が僅かの差で1位となり、トップ3の順位は昨年から逆転した。なお、トップ3の合計(47%)は昨年から8pt減。逆に「わからない・特にない」が7pt増で、ほぼ1/4(23%)を占めている。
- エリア別で見ると、中京で「遠い・不便」、中国・四国で「既に行ったことがある」、九州圏で「情報がない」が、それぞれ他エリアよりもやや高い。

Q18. ■前問で「行きたくない」とお答えの方にお伺いします ■ その理由は何ですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

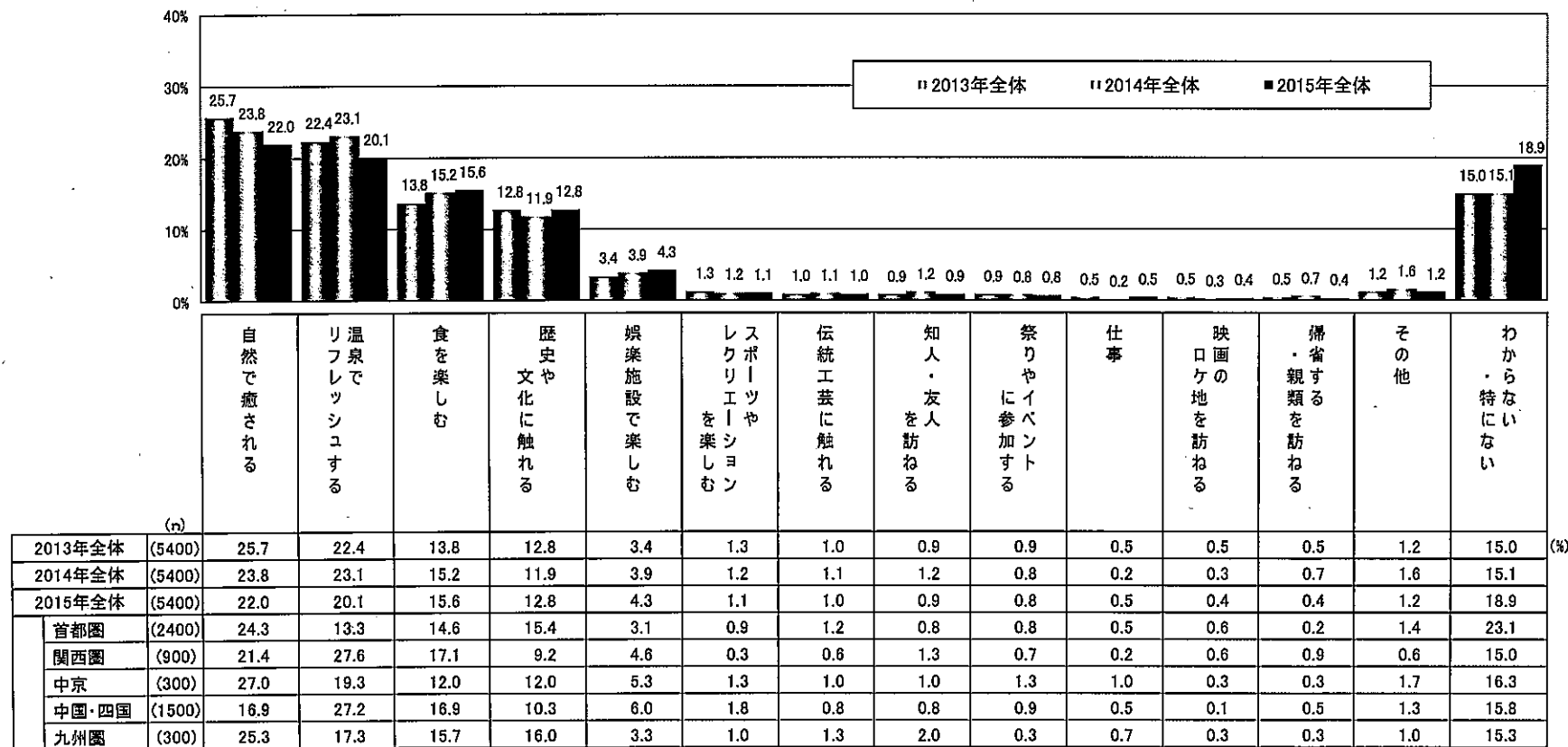


【対象者:鳥取県への非訪問意向者】

4-3. 今後の鳥取県への訪問時の主要目的

- ◆ 今後、『鳥取県』を訪れる際の最大目的(1つ)をみると、「自然で癒される」(22%)、「温泉でリフレッシュする」(20%)、「食を楽しむ」(16%)がトップ3。次いで「歴史や文化に触れる」(13%)が続き、上位4項目の合計は7割強を占める。
- ◆ 時系列でも主要目的はほぼ同様の傾向。ただ、微減傾向の「自然で癒される」「温泉でリフレッシュする」に対して、「食を楽しむ」が徐々に上昇しており、トップ2との差は縮小されている。
 - エリア別にみると、中京で「自然で癒される」、関西圏、中国・四国は共通して「温泉でリフレッシュする」などがやや高く、主要目的は異なる。

Q19. 今後、鳥取県を訪れるとした場合、何を目的に訪れたいですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



【対象者:全員】

4-4. 鳥取県への訪問意向ランキング順位

- ◆ 行ってみたい都道府県としての『鳥取県』のランキングを4区分で見ると、最も下位の「31～47位」が33%で最多。以下、「21～30位」(31%)、「11～20位」(26%)、「1～10位」(11%)と、ランキングが上がるにつれて、スコアは減少傾向。
- ◆ 時系列で見ると、この3年間では「1～10位」は1割強で推移。「1～20位計」の割合(37%)は昨年には及ばないが、2013年(32%)を4pt上回る。
 - エリア別にみると、ランキング下位の「31～47位」の割合は首都圏でやや高く、関西圏や中国・四国でやや低い。
 - エリア×年代別では、「1～10位」に挙げた割合は、関西圏60代以上、中京40代、中国・四国50代でやや高い。特に関西圏60代以上では「1～20位計」でも半数強で最も高評価。

Q20. あなたが行ってみたい都道府県を、1位から47位までランキング順位付けした場合、鳥取県のランキングは概ねどのあたりですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

		(n)	11～20位 (%)	21～30位 (%)	31～47位 (%)
2013年全体		(5400)	20.7	28.6	39.0
2014年全体		(5400)	28.2	30.4	28.9
2015年全体		(5400)	25.8	30.6	32.9
エリア×年代	首都圏	(2400)	23.1	29.0	38.3
	10代	(139)	21.6	30.2	42.4
	20代	(661)	25.1	30.3	35.6
	30代	(400)	21.8	28.5	41.3
	40代	(400)	21.5	24.8	42.8
	50代	(400)	21.3	29.3	40.6
	60代以上	(400)	25.3	31.3	31.8
	関西圏	(900)	30.2	31.4	25.0
	10代	(107)	32.7	33.6	27.1
	20代	(193)	26.4	34.2	25.4
	30代	(150)	30.0	31.3	24.7
	40代	(150)	28.7	30.7	28.7
	50代	(150)	32.7	28.7	28.0
	60代以上	(150)	32.7	30.0	16.7
	中京	(300)	25.0	30.3	36.0
	10代	(49)	22.4	22.4	49.0
	20代	(51)	27.5	35.3	25.5
	30代	(50)	28.0	36.0	28.0
	40代	(50)	22.0	26.0	32.0
	50代	(50)	20.0	28.0	48.0
60代以上	(50)	30.0	34.0	34.0	

		(n)	11～20位 (%)	21～30位 (%)	31～47位 (%)
2013年全体		(5400)	20.7	28.6	39.0
2014年全体		(5400)	28.2	30.4	28.9
2015年全体		(5400)	25.8	30.6	32.9
エリア×年代	中国・四国	(1500)	27.8	32.5	27.5
	10代	(47)	28.8	31.9	27.7
	20代	(421)	26.4	30.6	31.8
	30代	(281)	29.9	34.2	25.3
	40代	(251)	26.7	34.7	26.7
	50代	(250)	24.0	32.0	27.2
	60代以上	(250)	32.4	32.4	23.6
	九州圏	(300)	25.3	31.0	37.0
	10代	(24)	12.5	25.0	58.3
	20代	(76)	31.6	28.9	38.2
	30代	(50)	22.0	36.0	40.0
	40代	(50)	26.0	22.0	40.0
	50代	(50)	14.0	40.0	34.0
60代以上	(50)	36.0	32.0	22.0	

【対象者:全員】

4-5. 鳥取県の満足度

- ◆ 『鳥取県』への訪問経験者、または居住経験者に、他の都道府県と比較して『鳥取県』の「おもてなし」に対する満足度を聞いた結果、「非常に満足」が5%、「概ね満足」が30%で、程度の差こそあれ、3人に1人(34%)が「満足」と評価している。全体的には「普通」評価が多く、6割を占めた。
- ◆ 時系列で見ると、「満足計」の割合は昨年と同程度で、評価は変わらなかった。
 - エリア別に見ると、九州圏の満足度が他のエリアに比べて10pt以上低い。(九州圏では、「普通」評価がほぼ3/4を占めており多かった。)
 - エリア×年代別では、首都圏20代、関西圏、中国・四国10代の満足度が高いが目立つ。一方、九州圏60代以上では1割強と最も低い。

Q21. ■鳥取県を「訪れたことがある」又は鳥取県に「居住したことがある」とお答えの方にお伺いします■
他の都道府県と比べ鳥取県(県民・施設・店舗等)のあなたに対する「おもてなし」はいかがでしたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

		満足度 (%)				満足計
(n)		非常に満足	概ね満足	普通	やや不満	
2013年全体	(2634)	3.4	27.4	63.9	4.4	0.9
2014年全体	(2684)	3.8	29.7	62.3	3.1	1.0
2015年全体	(2610)	4.7	29.6	60.2	4.4	1.2
エリア×年代	首都圏 (668)	4.8	31.6	59.2	4.0	1.3
	10代 (29)	17.2	41.4	37.9	0	58.6
	20代 (132)	9.1	40.2	47.0	3.6	49.2
	30代 (98)	6.1	33.7	53.1	5.1	2.0
	40代 (106)	2.3	27.4	65.1	3.6	0.9
	50代 (126)	3.2	23.2	63.5	2.6	2
	60代以上 (177)	1.1	23.6	65.0	4.5	0.8
	関西圏 (625)	5.4	29.0	60.3	4.2	1.1
	10代 (50)	12.0	44.0	42.0	2.0	58.0
	20代 (115)	8.7	29.7	53.9	7.0	1.7
	30代 (95)	4.2	33.7	56.8	3.2	2.1
	40代 (105)	6.7	29.5	58.1	4.3	1.0
	50代 (128)	11.6	24.1	72.7	3.9	22.7
	60代以上 (132)	3.8	27.3	65.2	3.6	0
	中京 (107)	5.6	33.6	59.8	0.9	39.3
	10代 (6)	16.7	50.0	33.3	0	66.7
	20代 (11)	18.2	36.4	45.5	0	54.5
	30代 (18)	0	33.9	61.1	0	38.9
40代 (20)	10.0	35.0	55.0	0	45.0	
50代 (24)	4.2	29.2	66.7	0	33.3	
60代以上 (28)	0	23.6	67.9	3.6	0	

		満足度 (%)				満足計
(n)		非常に満足	概ね満足	普通	やや不満	
2013年全体	(2634)	3.4	27.4	63.9	4.4	0.9
2014年全体	(2684)	3.8	29.7	62.3	3.1	1.0
2015年全体	(2610)	4.7	29.6	60.2	4.4	1.2
エリア×年代	中国・四国 (1075)	4.4	29.9	59.6	4.3	1.3
	10代 (33)	6.1	42.4	39.4	4.6	48.5
	20代 (254)	5.5	31.1	55.9	6.5	2.0
	30代 (192)	4.2	32.3	57.8	5.2	0.5
	40代 (184)	6.0	28.3	59.2	6.0	1.1
	50代 (201)	3.0	27.4	64.2	4.6	1.0
	60代以上 (211)	2.8	27.5	65.9	2.6	0.9
	九州圏 (135)	2.2	17.8	73.3	5.9	0.7
	10代 (5)	0.0	80.0	0	0	-
	20代 (20)	5.0	40.0	45.0	10.0	0
	30代 (20)	0	20.0	75.0	5.0	0
	40代 (29)	0	24.1	69.0	6.9	0
50代 (26)	7.7	3.8	88.5	0	0	
60代以上 (35)	0	11.4	80.0	8.6	0	

【対象者：鳥取県に訪問・居住経験者】